2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
1	札幌	集団	－	新規	C1	保健医療	社会保障と高齢者福祉	Social Security and Senior Citizen Welfare	6	下	10/2	12/14	北斗文化学園	Hokuto Bunka Academy	https://hokuto-bunka.ac.jp/	学校長 澤田　乃基	SAWADA Sakimoto(Mr)	g.h.q@hokuto-bunka.ac.jp	＜必要資格＞保健福祉人材の現職者（看護、介護の職にある現場の中間管理職以上の者）、大学院生 ＜その他＞自立支援介護はリハビリの領域にも関わるので、上記の必要資格者に理学療法士、作業療法士の現職者、大学院生等の参加も可能。また、看護学校（専門学校）、看護等医療系大学の教員の参加も可能。（教員の場合、臨床技術系教員が望ましい）	不問	5年以上（大学院生の場合、実務経験期間は不問）	不問	N4後期からN3以上の者	意思の疎通のできるレベルの英会話が出来ると望ましい	研修員が帰国後、当該地域、職場において実践可能かつ将来の社会福祉制度に確実に寄与貢献できる実践上の知識と技術を習得すると同時に実際の現場でこれらを普及するための実践方法を習得する。	最新の日本社会における介護の知識と技術を習得することができると同時に、これらを普及するための実践方法を学ぶことが出来る。	＜講義＞ 介護保険制度等の流れ、自立支援介護、自立支援介護」を学ぶための日本語等 ＜演習＞ 自立支援介護技術（自立支援介護の理論と方法による食事、入浴、排せつ等）、学校で実施する地域の高齢者に対する自立支援介護のサービス提供現場での実践等	
2	帯広	集団	－	継続	C2	農業開発・農村開発　都市開発・地域開発	日本の地域特産品を活用した6次産業化とアグリツーリズム	Effective utilization and distribution of local specialty products by sixth sector industrialization and agritourism	8	下	10/2	11/4	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	Tokachi Regional Activation Support Organization	https://tokachi-biz/	岩本　聖史	IWAMOTO Kiyofumi(Mr.)	kaizai@tokachi.biz	農業経営者、農業協同組合職員、農業系行政職員、日系団体所属者、日系団体でツーリズムに関わる担当者	不問	不問 （農業生産者団体・日系ツーリズム団体等で3年以上の実務経験を有する方が望ましい）	不問	挨拶程度の日本語ができることが望ましい	本研修は、集団研修として通訳を配置予定 教材：スペイン語or ポルトガル語	研修員が、日本の地域特産品を活用した6次産業化・高付加価値化、アグリツーリズムにかかる知見を習得し、自国で活用するための実践計画を作成する。	1. 研修員に、地域における大規模農業および中小規模農業の岡面の事例から、日本の6次産業化・高付加価値化と1次産品に依存しない農業経営、アグリツーリズムの全体像が理解される。 2. 研修員に、日本の6次産業化、アグリツーリズムの手法が習得される。 3. 日本最大の食糧供給基地である北海道十勝地域における6次産業化・高付加価値化、アグリツーリズムを参考に、自国で応用可能なアイデアを考案できる。 4. 日本の農業協同組合や農業に関連する法律など農業の基本的な仕組みを理解できる。 5. 研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。	1. 講義：6次産業化と1次産品に依存しない付加価値化・農業経営、アグリツーリズムの概要、独自の開拓の歴史を持つ北海道・十勝の農業、農業経営等および、農業協同組合や農業関連施策や法律など 2. 視察：6次産業化、アグリツーリズムを実践している農家、法人 3. 実習：事業計画の実践、加工及びサービス・販売、北海道の低統的な祭りを始めとする日本文化の体験 4. 発表：内部及び関係先	本研修実施の意義／現地日系社会への裨益効果: 本コースは、講義・視察・ワークショップ・ディスカッションを通して、地域における先進的な6次産業化・高付加価値化の手法と効果、安定的かつ収益性の高い農業経営等について学ぶことを目的とする。6次産業化は、農業生産のみを行う1次産業だけではなく、加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）を一貫して行うことで経営の多角化を図り、農業の可能性を広げようとするものである。また、そこから踏み込んで観光分野まで展開し、グリーンツーリズム・アグリツーリズムの実践など、農業のバリューチェーンを計画、構築、管理する能力の育成を目指す。 北海道中小企業家同友会とかち支部と連携し、日本最大の食糧供給基地である北海道・十勝において農業の振興を担う多数の関連団体（行政機関、農協、農業経営者など）と活発な意見交換を行いながら、自国で適用可能な取り組みのヒントを得て、農業経営の発展を通じて日系社会に寄与する人材、自国の地域経済を牽引できる人材を育成する。 また、農業協同組合や農業関連施策、法律などについても基礎的部分を学ぶことで、より基礎から応用に至るまで一貫した日本型農業のあり方に知見のある人材育成に寄与する。
3	東北	集団	－	継続	C3	保健医療	医療機材管理・保守	Medical Equipment Management and Maintenance	8	下	11/6	11/29	エア・ウォーター東日本株式会社	Tohoku Branch Air Water East Japan inc.	https://www.awi.co.jp/east-japan/	水谷　恭二	MIZUTANI Kyoji (Mr)	mizutani-kyo@awi.co.jp	医療現場において医療機材の管理・保守に従事する者	大卒（相当）	3年	不問	不問（あれば望ましい）	通訳配置：有 教材：日本語、英語、西語、ポルトガル語	医療機材を理解し、日常点検の方法や簡易な修理技術を習得することにより、機材が長期間活用されるようになる	日本と途上国の相違点、途上国の医療現場で起こり得る問題点を学び、人工呼吸器を始めとする医療機材の日常点検の方法を習得する	1.講義：医療機器学概論、安全管理工学、計画的予防メンテナンス 2. 実習：医療機材の日常点検、簡易な修理方法、（生体情報モニター、人工呼吸器） 3. 見学：郡山市内総合病院、酸素工場、医療機材メーカー工場、サービスセンター等（ICU関連機材、手術室関連機材） 4. 討議・演習：ふりかえり、研修成果発表	
4	東北	集団	有	継続	C4	社会保障	音楽リハビリ・プログラム	Music & Rehabilitation Program	6	下	11/6	12/2	株式会社 ゆらリズム	Yura-Rhythm Co.Ltd.	http://yura-rhythm.com/	菊地　義仁	KIKUCHI Yoshihito(Mr)	kikuchi_yura@gmail.com	高齢者福祉を中心とした保健医療福祉業務に従事している者（看護師や介護士の資格あれば尚可）	不問	不問	不問	挨拶程度の日本語ができること	通訳配置可能性有 教材：ポルトガル語 or スペイン語	・音楽リハビリ・プログラムの理論と実技を習得する ・帰国後に現地でリハビリの実施やスタッフ等の指導・訓練ができる人材を育成する ・日本国と日系社会との関係強化のための交流を促進する	・高齢者の介護予防に必要な６つ観点「運動機能向上」「口腔機能向上」「栄養改善」「認知症予防」「閉じこもり予防」「うつ病予防」を理解する ・６つの観点をどのようにプログラムとして展開していくのかを理解し、実際に展開できる ・リラクゼーション3ゴ、リズム運動、音楽セッションの3つのプログラムの運営管理手法を習得する ・音楽を活用した運動、音楽演奏手法、脳の活性化訓練手法を習得する	1.　講義：研修会場で講師による講義の実施 2.　実習・OJT：音楽リハビリ・プログラムの実演 3.　見学：ゆらリズム（通所介護施設）・他高齢者施設の見学 4.　演習：ゆらリズム等で利用者様向けのプログラム実施 5．発表：研修内容についてのレポート作成、発表	
5	横浜	集団	－	継続	C5	保健医療	5S-KAIZENを通じた病院における安全とサービスの質向上	Improving safety and quality of service in hospitals through 5S-KAIZEN	6	下	9月に遠隔研修、11/6に来日	11/25	株式会社ティーエーネットワーキング	TA Networking Corp.	http://www.ta-n.com/	佐藤 結香	Yuka SATO(Ms.)	sato.yuka@ta-n.com	医師、看護師等の医療従事者、事務管理者、医療施設において管理者経験があるもの、もしくは、将来管理者として従事する可能性があるもの	不問	3年	不問	不問	－	研修員がSS-KAIZENを理解し、実践する能力を得ることにより、病院における安全や情報等の管理向上に貢献する。	1.5S-KAIZENの知識を習得することによって、研修員の管理業績が向上する。 2.研修全体を通して、職場におけるSS-KAIZENの実践を理解する。 3.患者満足度の向上に関する日本での取り組みを学ぶ。 4.研修全体で習得した情報・知識・技術に基づき、具体的実践計画を作成する。	1.講義：5S-KAIZENにおけるマネジメント、5Sの概要、院内感染予防からみた5S、医療機材と5S、日本の保健医療制度、5SからKAIZEN～～KAIZENとは、KAIZEN 7ステップ、KAIZENツール、KAIZEN業務プロセスの見直し、カイゼン型病院経営、リーダーシップ論、医療管理と患者安全と5S-KAIZEN、SWOT分析 2.　実習：来日研修で行う。 3.　見学： 4.　発表：ジョブレポート	・本コースは来日研修の前に、遠隔研修の受講が必須となります。 ・遠隔研修は2022年9月中に2週間の日程で実施を予定しています。 ・応募締切は6月来日コースの締切日です。
6	横浜	集団	有	継続	C6	その他	太鼓の技術認定及び指導者育成	Training of Taiko Technique and Taiko Instructor	6	下	1/9	3/23	公益財団法人日本太鼓財団	Nippon Taiko Foundation	http://www.nippon-taiko.or.jp/	小山	KOYAMA (Ms.)	koyama@nippon-taiko.or.jp	日系社会において太鼓を指導又は演奏しており、日本太鼓資格認定制度に基づく公認指導員又は3級技術認定員以上の資格	不問	3年	2022年4月時点で21歳以上	N3以上 （本コースは日本語で実施します）	－	①研修員が、長野県岡谷市において研鑽を重ねながら、講習会開催時には開催地に赴き、技術認定員資格の取得または指導員としての認定を目指す。 ②全国各地の太鼓団体において多様な打法に触れ、また指導法を学ぶ。 ③太鼓の製造過程を見学すると共に可能な限り、製造・修理技術を習得する。 ④ジュニアコンクールの運営に関わることによって、太鼓の事業運営のノウハウを学び、自国での太鼓事業開催に活かす。	①研修員が日本太鼓について並びに日本太鼓資格認定制度の全体像の理解を深める。 ②研修員の太鼓技術を向上させ、太鼓指導者としての資格取得の可能性が増大する。 ③研修員が太鼓の製造過程を体験することができる。 ④研修員が帰国後に太鼓技術を学び、将来的に指導員として南米で太鼓指導が可能となる。 5)研修員が帰国後に太鼓製造に関してもアドバイスが可能となる。 ⑥研修員が日本の太鼓事業に参加し、実践経験を積むことで自国における活動に活かされる。	①太鼓の技術研修：全国各地の日本を代表する太鼓チームにおいて、技術を習得する。 ②日本太鼓全国講習会及び支部講習会等で1級技術認定資格を取得し、1級技術認定員の資格を有するものは、講習内検定として参加し、公認指導員の資格取得を目指す。 ③障害者に対する太鼓の指導法を学ぶ。 ④日本の太鼓製造工場において、製造過程を見学しながら可能な限り体験実習することにより太鼓の製造方法・修理方法を学ぶ。 5)太鼓公演を見学し及びスタッフとして参加することにより、事業運営を研修する。	宿舎は、長野県岡谷市の宿泊施設を拠点とし、必要に応じて各研修地に近い市子ル等を使用する。 講習会の参加費、受講料、検定料（技術認定のみ）、講習内検定料（公認指導員を目指す者のみ）、認定料等、資格取得に必要な費用は研修員の負担とする。 参加費：毎回4,000円程度（講習会によって多少の増減あり） 技術認定員取得を目指す場合：講習会1回につき受講料9,000円、検定料（試験）1回につき2,000円 公認指導員取得を目指す場合：講習会1回につき講習内検定料5,000円、 技術認定員認定料：2級技術認定員（10,000円）、1級技術認定員（20,000円）、 公認指導員認定料：3級公認指導員（30,000円）、2級公認指導員（50,000円）、1級公認指導員（100,000円）
7	横浜	集団	－	継続	C7	その他	食を通じた日系団体活性化	Activation of Nikkei organization through Japanese food	6	上	5/8	6/10	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系団体青年部等に所属し、諸活動に積極的に参加している者 （婦人部部員を対象とした類似コースを別に実施しているため、それ以外の団体、部署に所属している者を優先する）	不問	1年	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を備上予定	－	研修員が、食を通じた地域活性化のための日系団体活動に関する知識を習得する。	1.研修員に、日本食を中心とした調理技術が習得される。 2.研修員に、食を通じた特産品の開発、地域おこし等の地域活性化に関する知識が習得される。 3.研修員に、所属団体が抱える課題解決手法が習得される。	1.　講　義：日系社会と日系団体活動、日本の非営利活動等 2.　視　察：先進農協、地域団体他 3.　実　習：調理実習等	
8	横浜	集団	有	継続	C8	その他	日本文化活動コーディネーター育成（基礎）	Management of Japanese Culture Activities (Basic)	6	上	7/24	9/2	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系日本語学校または日系団体の文化部担当者、青年部のリーダーなど	不問	1年	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を備上予定	－	研修員が、日本文化・歴史に関する基礎知識を習得し、継承および普及のための日本文化活動を企画・運営するための知識を習得する。	1.研修員に、日本文化・歴史に関する基礎知識が習得される。 2.研修員に、様々な日本文化活動事業に関する企画実施方法が習得される。 3.研修員が、日本文化活動を通して、日系社会および地域活性化のための活動案を作成する。	1.　日本文化・歴史に関する基礎知識の習得 【講義】日本文化・歴史の基礎知識、ポップカルチャー論など 【視察】日本文化・歴史の関連施設、秋葉原など 2.　様々な日本文化活動事業に関する企画実施方法を習得する。 【講義】各国日系団体事情、各種イベント企画手法、日本文化紹介手法など 【見学】文化系・教育系NPOの活動、日本文化施設など 3.　日本文化活動を通して、日系社会および地域活性化のための活動案を作成する。 【講義】日系団体の役割とあり方、ファシリテーション手法、新規事業計画作成など	
9	横浜	集団	有	継続	C9	教育	日系日本語学校の運営管理	Management for Nikkei Japanese Language School	6	上	6/19	7/15	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系日本語学校の運営に関わる幹部もしくは管理者（教師兼務可）	不問	5年以上（日本語教師としての経験含む）	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を備上予定	－	研修員が、日系継承教育に関する考え方に基づいた日系日本語学校を運営するための知識及び経営者、管理者としての能力向上のための知識を習得する。	1.研修員に、日系継承教育に関する考え方に基づいた日系日本語学校を運営するために必要な現状分析や戦略立案の方法に関する知識が習得される。 2.研修員に、経営者、管理者としての能力向上のための人的資源管理に関する知識が習得される。 3.研修員に、新しい学校運営のモデルを作成させる。	1. 日系日本語学校運営のための知識・技術 【講義】日系日本語学校の役割とは、日系日本語学校運営管理Ⅰ（現状・市場分析） 【演習】新規事業計画作成 【見学】教育系非営利団体の活動/教育ICT活用現場（日本語学校、公教育（初等・中等）） 教育産業（教材作成・開発）の現状 2.　経営者、管理者としての能力向上のための知識・技術 【講義】日系日本語学校運営管理Ⅱ（人的資源管理）、非営利団体の広報・宣伝 【演習】ファシリテーション手法 3.　新しい学校運営のモデル作成 【講義】日系日本語学校運営管理Ⅲ（戦略立案） 【視察】移住関連施設 / 日本文化施設	
10	横浜	集団	有	継続	C10	その他	和菓子を通じた日系社会活性化	Activation of Nikkei community through Japanese Confectionery	6	上	6/19	7/22	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系団体婦人部または自営にて菓子製造に携わっている者 日系団体の活動に関わっており、帰国後、習得した技術を日系社会や周辺社会のために活かす意思がある者	不問	1年	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を備上予定	－	研修員が、和菓子に関する知識を深め、より質の高い和菓子を製造するための技術を習得し、日系社会活性化に役立てる。	1.研修員に、和菓子の製造に関する基礎知識が習得される。 2.研修員に、日本文化としての和菓子に関する知識が習得される。 3.研修員に、商品としての和菓子の基礎知識が習得される。	1.講　義：日系社会と日系団体活動、日系社会における和菓子屋の継承 　　和菓子の歴史・文化・種類、材料について等 2.視　察：和菓子屋、和菓子工場、製餡所等 3.実　習：基礎的な和菓子の製造技術	
11	横浜	集団	－	継続	C11	教育	日系継承教育（教師育成Ⅰ）	Nikkei Heritage Education (Teachers Training Ⅰ)	6	上	9/1通信開始12/4来日	2/9	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師	不問	1～3年程度または教授時間300時間程度。 ※上記以上の経験年数または教授時間であっても、本コース（教師育成Ⅱ、教師育成Ⅲを含む）受講経験がない場合は応募可。	不問	N3以上	－	研修員が、継承教育に関する基礎的な知識（言葉、文化、歴史（移住学習を含む））及び指導技術を習得する。	1.研修員に、継承教育を担う教師としての基礎知識が習得される。 2.研修員に、継承教育・言語（発達）教育の基礎理論が理解され、実践方法が習得される。 3.研修員に、継承教育におけることばに関する知識及び指導技術が習得される。 4.研修員に、継承教育における文化的活動の基礎的指導技術が習得される。	1.講義： (1)継承教育を担う教師としての基礎知識（通信：ブラジル日本語センター） ①日本語能力試験N2相当レベルの日本語力の習得 ②日本語文法、教授法等の専門用語の理解 ③報告書資料及びプレゼンテーション資料作成のための基礎的技術 ※日本語能力試験N2以上取得者は②③のみ。 (2)継承教育・言語(発達)教育の基礎理論 継承教育と人格形成（日系継承教育の考え方、日本の歴史と移住の歴史） (3)継承教育とことば ことばの教育（概論、日本語授業の研究（一般/年少）、技能別指導法） (4)継承教育と文化 こどもと文化活動（日本語学校と文化活動・日本文化体験・伝統文化と現代文化） 2.視察：公立校、移住関連施設、日本文化施設など	・本コースは来日研修前に9月より通信教育を実施する予定です。 ・応募締切は6月来日コースの締切日です。
12	横浜	集団	有	継続	C12	その他	持続可能な日系団体運営管理	Sustainable Management for Nikkei organization	6	下	10/2	11/4	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系団体等（日系農協および日系団体下部組織を含む）非営利団体に所属し、帰国後、習得した技術を日系社会や地域社会のために役立てられる者	不問	1年	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を備上予定	－	研修員が、持続可能な団体運営の方法に関する知識を習得し、ソーシャルビジネスの手法を用いた日系団体による地域活性化のための新規事業計画を作成する。	1.研修員に、非営利団体の運営管理手法に関する知識が習得される。 2.研修員に、日本人移住の歴史及び日系社会支援の実績に関する知識及び知識普及のための技術が習得される。 3.研修員に、現代日本事情及び日本伝統文化に関する知識が習得される。 4.研修員が、日系団体及び地域活性化のための新規事業計画を作成する。	1.　講義 日系関連事業、日系団体に関する講義／非営利活動、ソーシャルビジネスに関する講義／ ビジョン・ミッション論／モチベーション管理／リーダーシップ論 2.　演習 社会的課題発見手法／問題解決手法／新規事業作成手法 3.　見学 ソーシャルビジネス現場視察／在日日系コミュニティ支援／海外移住関連施設 4.　演習 日本文化行事企画／ファシリテーション手法	

2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
13	横浜	集団	有	継続	C13	その他	着物を通じた日系社会活性化	Activation of Nikkei community through “Kimono”	6	下	11/6	12/21	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@iadesas.or.jp	着付け及び裁縫の経験のある方 ※限られた実習時間内で浴衣の縫製を十分に習得する為に、基本的な手縫い技術を身につけていることが必要です。研修申請書に、手縫い経験（着物以外でも可）について必ず記述してください。	不問	3年以上（「着物」に関わった経験）	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を値上予定	-	研修員が、着物に関する一般的知識並びに活用・普及および管理・保存に関する知識、技術を習得する。	1. 研修員に、着物に関する一般的知識（歴史、役割、素材等）が習得される。 2. 研修員に、着物の活用・普及に関する知識・技術が習得される。 3. 研修員に、着物の管理・保存に関する知識・技術が習得される。	1. 着物に関する一般的知識（歴史、役割り、素材等）の習得 【講義】着物の歴史/思想と製法・種類/帯・小物の役割/着物の地方性・素材・季節など 【演習】着物の構造/染色体験など 【視察】染色工場/和装履物店/和装小物美術館/織物・染物会館など 2. 着物の活用・普及に関する知識・技術の習得 【講義】日本文化の基礎知識/着物と日本文化のコラボ/着物文化をビジネスに育てる/着物関連イベントの企画・運営など 【演習】着付け/着物のマナー/風呂敷活用法など 【視察】西陣織金襴きものショー/着物活用ビジネス現場など 3. 着物の管理・保存に関する知識・技術の習得 【講義】和裁・柄合わせとは/和紙文化と防湿・防虫、収納・虫干、畳み方/着用後メンテナンス 【演習】運材/採寸/見積・裁ち切り・へら付け/浴衣製作/かけ衿の付け方/修理技法 【視察】洗い張り/染み抜き修復工房	
14	横浜	集団	-	継続	C14	その他	日本文化活動コーディネーター育成（応用）	Management of Japanese Culture Activities (Practical)	6	下	11/6	12/18	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@iadesas.or.jp	日系日本語学校または日系団体のイベント企画運営実務者または日系団体幹部・役員など	不問	3年	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を値上予定	-	研修員（日系団体幹部・役員または日系団体が主催するイベントの企画運営において責任ある立場を有する者。以下、同じ）に、日本伝統文化に関する知識が深められ、文化指導の実践方法が習得される。 2. 研修員に、様々な日本文化活動事業に関する（資金調達の方法を含む）企画実施方法が習得される。 3. 研修員が、日本文化活動を、ビジネスの手法を用いた普及、実践方法が習得され、持続可能な団体運営計画を作成する。	1.研修員（日系団体幹部・役員または日系団体が主催するイベントの企画運営において責任ある立場を有する者）が、日本文化・歴史に関する知識を深め、継承および普及のための日本文化活動を企画・運営するための知識および技術を習得する。	1. 日本文化に関する知識および指導技術の習得 【講義】日本伝統文化、ポップカルチャー論など 【視察】日本の歴史・文化関連施設、秋葉原など 2. 様々な日本文化活動事業に関する企画実施方法を習得する。 【講義】各国日系団体事情、イベント企画手法、日本文化紹介手法など 【演習】問題解決手法、ファシリテーション手法、広報活動手法（ファンドレイジング）など 【見学】文化系・教育系NPOの活動、日本文化施設など 3. ビジネス的手法を用いた持続可能な団体運営計画の作成。 【講義】ソーシャルビジネス論、SWOTを活用した事業分析、新規事業計画作成など 【視察】カルチャーセンター、日本文化ビジネス施設（体験、販売）など	
15	横浜	集団	-	継続	C15	教育	日系継承教育（教師育成Ⅱ）	Nikkei Heritage Education (Teachers Training Ⅱ)	6	下	12/4	1/19	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@iadesas.or.jp	①日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師 （継承教育を実践する教師を育成することを目的とした研修であるため） ②原則、日系継承教育（教師育成Ⅰ）コースを受講した者。	不問	※上記コースの受講経験がない者でも経験年数5年以上または教授時間500時間以上の経験を有する者で、本コースからの受講を希望する者は可。	不問	N2以上	-	研修員が、継承教育に関する知識（ことば、文化、歴史（移住学習を含む））及び指導技術を習得する。	1.研修員に、継承教育・言語（発達）教育の応用理論が理解され、実践方法が習得される。 2. 研修員に、継承教育におけることばに関する知識及び指導技術が習得される。 3. 研修員に、初級コースのコースデザイン方法が習得される。 4. 研修員に、文化的活動の指導計画作成方法及び指導技術が習得される。	1.講義 ①継承教育・言語（発達）教育の応用理論 継承教育と人格形成（移住学習の実践と方法、継承教育と思考の方法、言語発達と日本語教育） ②継承教育とことば ことばの教育（日本語授業の研究（一般/年少）、技能別指導法） ③継承教育と文化 こどもと文化活動（文化活動、日本文化体験、伝統文化と現代文化） 2. 視察：公立校、日本文化施設など 3. 演習	
16	横浜	集団	-	継続	C16	教育	日系継承教育（教師育成Ⅲ）	Nikkei Heritage Education (Teachers Training Ⅲ)	6	下	1/9	2/15	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@iadesas.or.jp	日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師	不問	原則、日系継承教育（教師育成Ⅱ）コースを受講した者。 ※上記コースの受講経験がない者でも経験年数7年以上または教授時間700時間以上の経験を有する者で、本コースからの受講を希望する者は可。 （教師育成Ⅱ修了レベルもしくは、中級クラス担当者または担当予定者）	不問	N2以上	-	研修員が、継承教育に関する知識（ことば、文化、歴史（移住学習を含む））および指導技術を習得する。	1.研修員に、日系継承語教育に関する知識が習得される。 2. 研修員に、初中級及び中級レベルの指導に関する知識および技術が習得される。 3. 研修員に、学校運営や人材育成に関する基礎的な知識が習得される。	1.講義 ①日系継承語教育に関する知識の習得 継承教育と地域・社会（移住学習（教材開発）、ことばと教育（実践コミュニティ）など） ②初中級及び中級レベルの指導に関する知識および技術の習得 初中級及び中級レベルの日本語教授法（中級指導法、教育ICT活用法、アクティブラーニングなど） ③学校運営や人材育成に関する基礎的な知識の習得 日系日本語学校運営の基礎知識、人的資源管理、ファシリテーション手法、評価法など 2. 視察：公立校、都内日本語学校、教育系NPO、日本文化施設など 3. 演習	
17	横浜	集団	有	継続	C17	その他	食を通じた日系団体婦人部活性化	Activation of women’s group in Nikkei organization through Japanese food	6	下	1/9	2/10	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@iadesas.or.jp	日系団体婦人部の部員	不問	1年	不問	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて通訳を値上予定	-	研修員が、食を通じた地域活性化のための婦人部活動に関する知識を習得する。	1.研修員に、日本食を中心とした調理技術が習得される。 2. 研修員に、食を通じた特産品の開発、地域おこし等の地域活性化に関する知識が習得される。 3. 研修員に、所属団体が抱える課題解決手法が習得される。	1. 講　義：日系社会と婦人部活動、日本の非営利活動等 2. 視　察：先進農協、地域団体他 3. 実　習：調理実習等	
18	横浜	集団	-	継続	C18	民間セクター	改善と５Ｓ	KAIZEN and 5S	12	上	5/8	6/3	一般財団法人日本国際協力センター（JICE）	Japan International Cooperation Center	http://www.jice.org/	吉村　純	YOSHIMURA Jun(Mr.)	nikkei@iice.org	日本語あるいは英語の資料を読んで理解し、いずれかで報告書を書くことができる （講義は日本語、プレゼン資料は英語による。（日本語資料配付も可））	大卒相当	最終学校卒業後3年以上	不問	日本語あるいは英語の資料を読んで理解し、いずれかで報告書を書くことができる （講義は日本語、プレゼン資料は英語による。（日本語資料配付も可））	（講義は日本語、プレゼン資料は英語による。（日本語資料配付も可））日本語あるいは英語の資料を読んで理解し、いずれかで報告書を書くことができる 参加者の語学レベルに応じて、研修監理員/通訳の配置を予定（スペイン語またはポルトガル語のいずれかとなることが見込まれる）	研修員が、「改善」の意義や効果について認識を深めるとともに、それを進める手法としての「５Ｓ」あるいは生産管理手法を習得する。また、リーダーシップについて自覚を深め、イニシアティブをもって自律的に問題解決を進めるためのアクションプランが作成される。	1「改善」の本質と意義及びその背景となる日本企業の文化や価値観について理解を深める。 2製造現場におけるムダの削減に向けた生産管理の手法を習得する。 3事務管理部門におけるムダ削減のための「５Ｓ」の手法を習得する。 4職場や組織のリーダーとしての役割や取るべき態度・行動について認識と自覚が深まる。 5職場や自組織の問題を分析し、その改善に向けてアクションプランを作成する。それを通じて、問題解決能力が向上する。	1「講義(オンライン）” 改善と日本の企業文化、トヨタ生産方式の概要、製造現場における5Sとムダ取り、事務管理部門の５Ｓ、品質管理と問題解決手法 2 講義・演習 製造現場におけるムダ取り、５S演習（レイアウト研究、ツール管理手法）、生産管理演習、リーダーシップ、問題分析、アクションプラン作成 3 見学 事業所訪問（製造業における改善・５Ｓの取組み） 4 討議 各講義・演習での振り返り、アクションプラン 5 発表 ジョブ・レポート、アクション・プラン	2020年度及び2021年度に本研修の遠隔研修を修了した者は遠隔研修を免除する
19	横浜	集団	-	継続	C19	民間セクター	起業・後継者のための経営力強化	Enhancement of management for entrepreneur and successor	10	上	7/24	8/17	一般財団法人日本国際協力センター（JICE）	Japan International Cooperation Center	http://www.jice.org/	吉村　純	YOSHIMURA Jun(Mr.)	nikkei@iice.org	① 家業等を承継しているまたは近い将来に承継することが予定されている ② 起業して事業を経営しているまたは起業に向けて具体的に準備をしている	大卒相当	最終卒業後5年以上	不問	日本語あるいは英語の資料を読んで理解し、いずれかで報告書を書くことができる （講義は日本語、プレゼン資料は英語による。（日本語資料配付も可））	（講義は日本語、プレゼン資料は英語による。（日本語資料配付も可））日本語あるいは英語の資料を読んで理解し、いずれかで報告書を書くことができる 参加者の語学レベルに応じて、研修監理員/通訳の配置を予定（スペイン語またはポルトガル語のいずれかとなることが見込まれる）	研修員が、事業運営に必要な知識やスキルを習得するとともに、経営者としての役割や社会的責任を自覚する。また、自身の起業あるいは事業の継承・拡大の構想を明確にし、具体的かつ実現可能性のある事業計画書を作成する。	1 経営者としての責任や組織をリードする者として自覚が促がされる。 2 事例研究を通して、事業経営のノウハウを習得する。 3 マーケティング手法及び財務管理の基本的知識が身につく。 4 自身の事業について多角的に考察し、実現可能な事業計画書が作成される。	1講義(オンライン)　起業・事業承継の動向、経営革新に向けた中小企業の新たな取組、マーケティング戦略、経営環境分析、損益計算書の分析の視点、経営数値計画のポイント 2講義・演習 成長が期待されるニュービジネスの事例、リーダーシップ、日本的経営の特質、SDGｓとCSR経営、中小企業の組織運営、課題解決フレームワークの活用、経営環境分析演習、損益計算書作成、経営数値計画作成、事業計画書作成手順と評価法 3 見学 事業所訪問（起業家、老舗企業、社会的事業、自由見学での市場調査） 4 発表 ジョブ・レポート、事業計画	2020年度及び2021年度に本研修の遠隔研修を修了した者は遠隔研修を免除する
20	横浜	集団	-	継続	C20	民間セクター	サービス改革-おもてなしの心-	Service Improvement with OMOTENASHI Mind	10	下	12/4	12/24	一般財団法人日本国際協力センター（JICE）	Japan International Cooperation Center	http://www.jice.org/	吉村　純	YOSHIMURA Jun(Mr.)	nikkei@iice.org	現在、サービス産業に従事していることが望ましい 現在または近い将来において管理的職責を担うことが見込まれること	大卒相当	最終学校卒業後3年以上	不問	日本語あるいは英語の資料を読んで理解し、いずれかで報告書を書くことができる （講義は日本語、プレゼン資料は英語による。（日本語資料配付も可））	（講義は日本語、プレゼン資料は英語による。（日本語資料配付も可））日本語あるいは英語の資料を読んで理解し、いずれかで報告書を書くことができる 参加者の語学レベルに応じて、研修監理員/通訳の配置を予定（スペイン語またはポルトガル語のいずれかとなることが見込まれる）	研修員が、日本の事例や体験をもとに、「サービス」の本質や改善のための手法について理解し、自社のサービス提供のあり方と課題について検討・分析して改善する。	1サービスの本質について理解し、その価値を高めるためのアプローチを習得する 2サービスにおける生産性向上のアプローチを習得する 3自社のサービス提供における問題を分析し、解決策をアクションプランにまとめる	1 講義 日本人の国民性とサービス文化、日本におけるサービス産業の特徴と課題、優れたサービスを提供するためのポイント、サービス業における改善の取組、５Ｓによるムダの削減 2 演習 問題解決の進め方(問題分析) 3 見学 サービス産業の企業訪問 4 発表 ジョブレポート、研修成果・アクションプラン	
21	横浜	集団	有	継続	C21	保健医療	地域保健医療福祉―病院から地域へ多職種によるチーム医療福祉	Community Health, Medicine and Welfare -Seamless care from hospital to community by multidisciplinary team care	8	下	11/6	12/9	学校法人佐久学園 佐久大学	Saku University	http://www.saku.ac.jp/	東田　吉子	TSUKADA Yoshiko(Ms.)	y-tsukada@saku.ac.jp	1. 医療(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等) 2. 保健(高齢者のデイケアや健康増進プログラムのマネージャー等で職種は問わない) 3. 福祉(ソーシャルワーカー、高齢者施設のマネージャー等で職種は問わない) 4. また、日系関連団体の施設等を利用して、高齢者が集まるサロンやデイサービス等を 企画、運営する意欲のある人 （資格は問わない） 5. 老年学を学ぶ大学院生	不問	2年	不問	N3～N4程度（高齢者とあいさつができる程度）	日本語が乏しい場合は日常的な実語を理解できること。	研修員が、病院から地域への切れ目のないケアサービスおよび多職種の協働によるチーム医療と地域包括ケアシステムの実際を学び、自国の高齢者ケアの改善に資する人材となる。	期待される成果（習得する技術）： 1.日本の高齢者医療、在宅ケアの歴史的背景、介護の人材育成、認知症ケア等の基本的な講義を受け、現在に至る地域医療の現状を理解し、自国の高齢者対策へのヒントを得る。 2.日本の都心部と農村部で展開されている救急病院―リハビリテーション病院および中間施設である老人保健施設をへて訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション・訪問介護へと継続されている流れと実際を理解する。 3.佐久総合病院の訪問診療、訪問看護等在宅医療の歴史から切れ目のないサービスを提供する病院の機能について理解する。 4.地域包括ケアにおける自治体（佐久市）と保健医療福祉機関との協力体制を理解する。 5.地域住民の健康意識を高める継続的な取り組みについて理解する。 6.高齢者施設の運営、管理について理解する。 7.高齢者用住宅の利便性について理解する。 8.高齢者の持てる力や機能を生かせるケアについて理解し、応用できることを計画する。 9.介護予防の知識・技術、実践方法について理解する。 10.高齢者施設での看取り、自宅での看取りの実際について学び、高齢者の看取りの在り方について考察する。	1週間：JICA横浜―総論的な研修(日本の保健行政、高齢化を取り巻く社会・経済、日本語学習等) 3日間：東京研修―大都市における高齢者ケア（病院、ケア施設等）、日本看護協会、ジョブレポートの発表等 3週間：佐久市を中心とする研修（佐久大学、JA佐久総合病院、浅間総合病院、佐久市の各ケア施設)、佐久市の認知症サポータープログラムの取り組み、介護の基本技術 上田市（JAローマンうえだケア施設)、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護ケアホーム、認知症ケアホーム、有料老人ホーム）、鹿教湯リハビリテーションセンター（病院）専門職によるシャドウラーニング 2日間：JICA横浜―アクションプランの発表、評価会、閉校式	

2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
22	横浜	集団	－	継続	C22	農業開発/農村開発	次世代の農業を担い革新を起こすメンづくり（スマート農業、フードバリューチェーン、「道の駅」を活用した地域振興策）	Enhancement of innovative human resources in the agriculture sector(new technologies, Food Value Chain and promotion of the community development through "Michi no Eki"）	10	上	5/8	5/31	株式会社 自然塾寺子屋	Global Agriculture Crossroad. TERRAKOYA	https://terrakoya.or.jp/	森　栄梨子	MORI Eriko(Ms.)	eriko.mori@terrakoya.or.jp	農業や地域振興に関わる人	不問	1年	不問	簡単な日本語を理解できることが望ましい	－	1. 研修員が、中南米日系農業現場での共通課題である①スマート農業、②フードバリューチェーン、③「道の駅」を活用した地域振興について知見を習得する 2. 研修員が、研修を通じて得た知識や手法を活用し、自身の農業経営強化や地域農業活性化に向けたアクションプランを作成する。	1.スマート農業、農業のIOT/ICT デジタルテクノロジーを活用した農業生産・事業展開等についての事例等を通じて、スマート農業、農業のIOT/ICTについて先端技術の活用について知見を深め、経営強化のための生産事業(安定品質、安定コスト、安定生産)の重要性を理解する。 2.フードバリューチェーン 農産物の生産から流通、販売まで付加価値を付与して商品価格を変化させているマーケットイン型の生産・加工事業事例や、各種認証制度の取り組みやトレーサビリティー等の取り組み事例を通じて持続的な農業経営について戦略を策定する。 3.「道の駅」を活用した地域振興策 地域活性化のため、農作物直売所、観光拠点、地域公民館等自治体が地域のニーズに合わせて、元々存在したソーシャルキャピタルをつなぐ場としての「道の駅」について、各地の取り組み事例や討論を通じ、自分の地域での取り組みについて方策を検討する。	1.スマート農業実習Ⅰ（IOT/ICTを活用した研究と普及：JIRCAS） ・スマート農業Ⅱ（IOT/ICTを活用した農業による人材育成：東京大学農学部） ・フードバリューチェーン ・認証制度、グローバルGAP、トレーサビリティー等の取り組みによる持続的な農業経営 ・若手農業者のネットワーク化による人材育成の事例（群馬県フロントランナー養成塾） ・「道の駅」を活用した地域振興策（各地の取り組み事例等） 2. 実習・調査 ・多様な農産物流通（フードバリューチェーン）による持続的な農業経営 ・次世代農業リーダー、農業女子との意見交換会 ・「道の駅」の多様な活用事例 ・ワークショップ（ナレッジマネジメント） 3. 見学： ・スマート農業Ⅰ（研究機関：農研機構） ・スマート農業Ⅱ（民間企業：E-kakashi） ・スマート農業Ⅲ（農家：IOT/ICTによるスマート農業を導入した先進農家） ・環境制御型農業 ・多様な流通実践例 ・農業生産法人（民間農産物流通） ・次世代農業リーダーの活躍とアグリビジネス ・農業協同組合（組織強化、市場流通・販売促進、産地形成、共同出荷） ・「道の駅」の多様な活用事例（農産物直売所、観光拠点、体験教室型、公民館機能） 4. 発表：ジョブレポート発表、アクションプラン発表等	
23	中国	集団	－	新規	C23	その他	日系社会地域資源の保存技術と活用	Preservation and utilization of Nikkei communities' local resources	8	上	6/19	7/17	学校法人　順正学園 吉備国際大学	Kibi International University	https://kiui.jp/pc/	鈴　伊智朗	TAMBO Ichiro (Mr.)	tanbo@kiui.ac.jp	・PCの基礎的な操作（Word、Excel、PPTなど）ができることが望ましい。 ・日系社会の地域活動などへの主催者としての参加経験（企画、コンテンツ作成、運営スタッフなど）が複数回あることが望ましい。	大卒（相当）	不問	21-50	日常会話程度	－	研修員が現地日系社会の伝統資源を認識し、修復、保存、活用に関する必要な知識と技術を習得する。	1.地域資源としての日系社会の伝統資源を認識する知識と技術を習得する。 2.地域資源の現状評価（非破壊分析）、修復計画、修復技術に関する知識と基礎的技術を習得する。 3.地域資源のデジタル・アーカイブ化に関する知識と技術を習得する。 4.デジタル・ファブリケーション技術を活用し、地域資源の複製作成などに関する知識と技術を習得する。 5.日系社会でのイベントなどにおいて、地域資源の活用を計画、実行、評価する技術を習得する。 6.地域資源の活用経験の形式知化に関する知識と技術を習得する。	1. 講義：1）地域資源の活用に関する概論、2）岡山県における地域資源の具体的活用事例、3）地域へのインパクト、4）地域資源の現状評価、5）評価技術の理論と応用、6）修復計画の作成と具体事例、7）修復技術概論、8）デジタル・アーカイブ技術と応用、9）デジタル・ファブリケーション技術（FabLab）の概論、10）FabLabの活用事例と教訓、11）地域イベントのプロジェクト・マネジメント手法、12）形式知化の技術と応用 2. 実習：1)デジタル写真などを活用した文化財の調査手法、2）文化財の各種非破壊検査手法、3）修復計画作成シミュレーション、4）修復技術の基礎実習、5）デジタル写真の撮影、6）デジタル・アーカイブ作成、7）FabLabの基本機材（レーザー・カッター、3Dプリンタなど）の基礎操作、8）地域イベントを想定した各種コンテンツ作成で学んだことを形式知化手法 3. 視察・見学：1）吉備国際大学文化財総合研究センター（高梁市）、2）備前おさふみ「刀剣の里」、3）長島愛正園歴史館、4）備前焼の展示場（瀬戸内市伊部）、5）瀬戸内市内・近郊の碑文、5）ライフタウンまび内デジタル工房まび（倉敷市真備町） 4. 発表：学内	
24	四国	集団	有	継続	C24	地域開発	日系ネットワーク強化を通じた地域振興	Regional development through the strengthening of the network among Japanese descendants	6	上	7/24	8/19	高知希望工程基金会	Kochi hope plans foundation	N/A	山中　茂	YAMANAKA Shigeru (Mr)	chinatu6732@vbb.ne.jp	日系社会でのリーダー的役割を期待できる人材	不問	不問	不問	不問	集団研修としてスペイン語の通訳を配置予定	❶ダイバーシティ・ネットワークマネジメント力を有する日系青年リーダーを育成する。 ❷日系ネットワーク強化を通じた地域振興アクションプランを創造する。	❶新たな日系ネットワークの構築と強化のアイデアと斬新な発想力を有するマネジメント力を習得する ❷多様化した日系社会のアイデンティティをシンジーさせた地域振興プランの具体的なヒントを得る ❸日系研修青年とローカルユースとの交流をとおして日系社会に持続可能な新たなネットワークが構築される	高知で以下を通じた“ダイバーシティ・ネットワークマネジメント”プログラムを研修する。 1. 講義：よさこい祭りと地域振興、ダイバーシティにおけるリーダーシップ論、青少年グローバルリーダー育成フォーラム、よさこい祭りがもたらす様々な波及効果 2. 視察：高知よさこい情報交流館、高知城、高知城歴史博物館 3. 実技・実習：よさこい鳴子踊り、青少年グローバルリーダー育成フォーラム 4. 発表：カントリーレポート（日系社会の現状報告）、アクションプラン（研修成果報告） 5. その他：高知県表敬、高知県議会表敬、ホームビジット	
25	四国	集団	－	継続	C25	教育	野球指導者の人材育成	Human resource development of baseball coaches	6	上	5/8	6/8	高知ファイティングドッグス球団株式会社	Kochi Fighting Dogs, Inc	https://kochi-fd.com	北古味　潤	KITAKOMI Jun(Mr)	jun.kitakomi@gmail.co	資格：日系社会で野球指導を精力的に行うことができる人材	－	競技経験があることが望ましい	不問	不問	－	日本式野球が伝統的に大切にしている「時間を守る」「ものを大切にする」「協調性を育む」「感謝・尊敬の気持ちを持つ」といった全人的な教育要素に加え、野球指導及びチーム運営、スポーツマネジメント能力の強化を図ることにより、日系社会における日本式野球文化を普及する人材が育成される。	1.プロ野球団の練習や指導方法を通じて、野球指導の手法を習得する。 2.監督・コーチ・選手の連携や地域での活動等を通じ、チーム運営の手法を習得する。 3.地元少年野球チーム、高知県スポーツ課アスリート養成事業に係わる様々な競技団体と連携し、幼少期から多様なスポーツに触れる機会の創造と手法を習得する。 4.栄養学やメンタルトレーニング等を通じ、私生活からケアできる手法を習得する。 5.大学連携による課題に向けたアクションプランが作成される。	「野球コーチング・チームマネジメン」研修プログラム 1.講義：コーチング論、トレーニング論、スポーツマネジメント論、スポーツ栄養学、メンタルトレーニング　など（外部講師による） 2. 視察：高知ファイティングドッグス球チーム、プロ野球 3. 実技・実習：高知印公式戦マネジメント、練習参加（ウォーミングアップ・守備練習、打撃練習、打球練習） 4. その他：地域の行事、小学校訪問などの地域振興イベントへの参加	
26	四国	集団	－	継続	C26	民間セクター開発	小規模食品ビジネスの開発（食の安全：調理と管理・製品開発と販売促進・ビジネスモデル開発のためのバックキャスティング）	Development of new small food Business (Food safety: preparation and handling; Product development and Promotion, Back-casting for business model development)	14	下	11/6	11/30	香川大学	Kagawa University	http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/globaledu/?page_id=2891	Lutes Peter Gerald	Lutes Peter Gerald	es.peter@kagawa-u.ac	資格：食品ビジネス分野の起業家または将来起業を考えている者	－	不問、ただし食品関連分野における基礎的知識を有することが望ましく、食品ビジネス及び日本の食とフュージョン食品に興味のある者	不問	会話程度	研修は基本的に英語にて実施。以下のいずれかの中級英語力が必要。 TOEFL（iBT55/PBT450、IELTS（Academic）4.5、TOEIC500または同程度	A)食品ビジネスのビジネスモデルを作成できる B)食の安全および関連する問題を理解する C)日本的食材や現地の健康的な野菜や果物（抗酸化作用を有する、ポリフェノールを含む、など）を有効活用した新規食品開発の方法がわかる D)クールジャパンが推進する日本の文化・食品・ブランド力をどう活かして、顧客をグローカルな食品ビジネスに惹きつけるかがわかる E)自己の参加、プログラムの利益と得たものについての自己分析ができる	A)　食の安全をいかに達成し、健康に有益な商品をいかにプロモーションするか B)「新たな」現地の味のフュージョン食品・料理の商品開発 C)　新規食品ビジネスのソーシャルメディア等を通したプロモーション	1.講義：食に関するビジネス、食の安全と微生物汚染、日本食の伝統、ビジネス計画のためのバックキャスティングとPDCA、食品の健康的特性、ビジネスモデル、日本食の伝統２、日本食のフレーバー、現地の食材で健康的なアイスクリームを作る、効果的なプレゼンテーション 2. 実習：ビジネス計画／研修（特徴あるレストランの経営）、ゾーセージ作り、うどん作り１（含　うどん生産の見学）、うどん作り２：現地の食材でフュージョン麺料理を作る、飲食店オーナーとの討論／研修２（起業家による経営の実際）、フィールド探索とその報告、プレゼンテーション予行 3. 発表：研修成果（香川大学内およびJICA内、討議：評価会	
27	四国	集団	－	新規	C27	地域開発・自然環境保全	SATOUMIの推進（持続可能な開発のための海洋・海洋資源の保全と地域振興）	Promotion of SATOUMI initiative (For Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources)	6	下	10/2	10/23	香川大学	Kagawa University	https://www.kagawa-u.ac.jp/	尾上　能久	ONOE Yoshihisa(Mr)	yoshihisa@kagawa-u.a	日系社会において地域振興の経験があること。特に環境関連、自然保護等の経験があれば望ましい。	不問	3年以上	不問	あれば望ましい	不問	・香川県について理解する。 ・SATOUMIに関する施策について理解する。 ・里海における生物多様性保全と地域興のための多様な主体の参画による協働管理システムについて理解する。 ・里海における生物多様性と地域振興のための能力構築や普及啓発について理解する。 ・海洋資源を利用したビジネス、地域振興策を習得する。	香川の里海における生物多様性の保全と持続可能な利用の実践事例からSATOUMIの概念を理解し様々な関係者が協働して取り組む事例を学ぶことにより自然環境の保全と住民の生計向上の両立という視点から自国における地域振興を導くための業務に活用される。	1. 日本の事情を習得する。（大学にて留学生に実施している講義受講） 2. SATOUMIの概念、歴史及び国家戦略や香川県における里海の政策、取り組み等の講義。 3. 香川県における地域振興の課題と実際の取り込み状況についての視察および事例研究。 4. 海洋資源を利用した起業家との意見交換。 5. 海洋資源を利用した振興策（芸術祭）視察。	
28	九州	集団	－	継続	C28	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	6	上	5/8	6/10	国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/imed/en/index.html	森山　智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr.)	tomohiko.moriyama.153@m.kyushu-u.ac.jp	医師 臨床経験3年以上 内視鏡経験1年以上	医学部	医学部卒業3年以上	55歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習熟できる ・プタ切除育を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習：プタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の実習 4. 学会参加：日本消化器内視鏡学会中日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表：医学部内で研修内容と発表	
29	九州	集団	－	継続	C29	民間セクター開発	日本的モノづくり技術	"Monozukuri" Technology at Japanese Manufacturing Site	8	下	1/9	2/1	公益財団法人北九州国際技術協力協会	Kitakyushu International Techno-cooperative Association	http://www.kita.or.jp	鳥飼　久敏	TORIKAI Hisatoshi (Mr.)	torikai@kita.or.jp	（日系）製造企業、業界団体に所属している製造管理・監督者、普及指導者	特に指定なし	3年以上	特に指定なし	受講研修内容が理解（聴講）できるレベル	通訳配置可能性有 教材：日本語	日本的モノづくり技術をベースとした企業の生産性向上のための戦略的計画が策定される	1.日本的モノづくりの要件を理解する 2.日本的な品質管理、生産性管理技術や方策を習得する 3.日本的な生産保全、設備保全技術や方策を習得する 4.上記を統合L.Q.C.D（Quality.Cost.Delivery）向上のための戦略的計画能力が身につく	1.講義：日本的モノづくり（文化、思想、考え方） 2.講義・実習 日本的な品質管理・生産性管理（不良品をださない現場、現場の活性化、ロスの排除　など） 生産保全・設備保全（保全管理技術・技能、設備診断技術、設備改善による予防保全　など） 3.見学・事例研究：5S、KAIZEN実践工場、先端技術工場　など 4.問題解決の進め方（アクションプラン作成）およびプレゼンテーションのやり方	
30	九州	集団	－	継続	C30	民間セクター開発	「和食」ビジネス振興	"Japanese Food" Business Promotion	8	下	10/2	10/26	公益財団法人北九州国際技術協力協会	Kitakyushu International Techno-cooperative Association	http://www.kita.or.jp	山根　信	YAMANE (Mr.)	yamane@kita.or.jp	日本食品関連日系事業家および起業家、日本食品関連日系コンサルタント	特に指定なし	3年以上	特に指定なし	受講研修内容が理解（聴講）できるレベル	通訳配置可能性有 教材：日本語	「和食」ビジネスの起業・振興能力を身につけ、起業・振興計画が策定・実行される。	1.和食文化・背景を理解し、和食についての広い知識を習得する。 2.ビジネス振興のための実践能力を習得する。 3.「和食」ビジネス起業・振興のためのアクションプランが作成できる。	1.日本食品の体験・視察（食材・調味料ー味噌・醤油等、日本料理ー郷土料理・蕎麦料理等） 2.日本食品関連経営・事業家能力向上に関する講義（農業の六次産業化、日本型経営、顧客満足経営、人財育成・コーチング、経営・マーケティング戦略、産学官連携） 3.他　日本食品関連の調査・視察（北九州市場調査、食器、食品廃材利用等）	
31	沖縄	集団	－	継続	C31	スポーツと開発	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた沖縄伝統空手の普及継承	Dessemination and Inheritance of Traditional Okinawa Karate for the UNESCO Intangible Cultural	10	下	1/9	2/24	一般社団法人国際沖縄剛柔流空手道連盟	International Okinawa Goju-ryu Karatedo Federation	http://ryureikan-slsa.jp	蔵元　雅一	KURAMOTO Masakazu(Mr.)	doujo-iogk@bronze.o	必要資格：3級（茶帯）以上経験年数：2年以上 日本語能力：日本語または英語（日常会話程度）	不問	2年	不問	日常会話	通訳配置可能性有	礼に始まり、礼に終わる伝統沖縄空手を修練することにより、心身の練磨に努める。　沖縄伝統空手の修練を通して、不撓不屈の精神を養う。 伝統沖縄剛柔流空手道の正統な基本と型を学ぶ。	1．伝統空手の型を繰り返し修練することで心身の鍛錬となり、空手の奥義に近ずける。 2．伝統型と型分解を学ぶことで護身術が身に付く。 3．沖縄剛柔流空手道の基本型である三戦を正しく修練することで呼吸法を身につけ、心身を仕健にできる。 4．伝統補助運動（チーシ、サーシ、握り腰、鉄下駄、金剛圏、タン等）を行うことでより一層身体を強化できる。	1．沖縄伝統空手4大流派（剛柔流、上地流、小林流、少林流）の研修並びに正しい歴史の講義 2．沖縄伝統空手4大流派の流祖の銅彫師及び墓訪問 3．準備運動、基本運動、補助運動、正統な型の修練 4．沖縄空手会館（資料室の閲覧）、沖縄県立博物館・美術館の訪問 5．各研修者によるサマリーレポートの発表	沖縄での宿舎はJICA沖縄センターを予定
32	沖縄	集団	－	継続	C32	民間セクター	沖縄のツーリズム・ストラテジー	Tourism Strategy of Okinawa	10	下	1/9	2/6	特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ	Okinawa Environment Club	https://npo-oec.com/	立田　亜由美	TATSUTA Ayumi(Ms.)	kokuba@npo-oec.com	必要資格：観光業に携わっている。	不問	2年	不問	日常会話程度以上（英語ができればなおよい）	通訳配置可能性有	自らのターゲット顧客のニーズに対応した観光商品づくりや販売について戦略案がまとまる	① 沖縄の観光の現状が理解される ② マーケティングやブランディングの基本が理解される ③ 自らが携わる観光の課題を把握し、対応策の案がまとまる	1．講義：　沖縄観光の概要、マーケティングの基礎、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランディング、地域ブランディング、様々な事例紹介 2．実習：　マーケティングの基礎、那覇市内の観光実態調査、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランディング、地域ブランディング、様々な観光プログラム体験 3．視察：　首里城、美ら海水族館、南部戦跡など 4．演習：　プロジェクト・サイクル・マネジメント（課題の分析から解決手段の提案）、分析結果の発表と討議 発表：　内部および業界関係者	
33	沖縄	集団	有	継続	C33	その他	沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性化	Effective use of soft power and regional revitalization through cultivation of Okinawan roots	12（15名まで可）	下	10/2	11/1	特定非営利活動法人レキオウイングス	NPO Lequio Wings	https://lequiowings.org/	串間　武志	KUSHIMA Takeshi(Mr.)	info@lequiowings.org	沖縄県県人会参加者や日本語学校関係者、地域社会のリーダー等、帰国後も精力的に活動する意欲のある方が望ましい。	大卒（相当）	不問	不問	不問	通訳配置可能性有	沖縄のアイデンティティが強化され、沖縄のソフトパワーを活かした研修員所属日系地域の活性化が実践される。	1．ルーツとしての沖縄について理解が深まり、沖縄県人としてのアイデンティティが強化される。 2．地域のリーダーとして地域活性化のための企画力、実践能力が高まる。 3．沖縄県と研修員所属日系地域のウチナーネットワークが強化される。	行政：沖縄県庁表敬、沖縄県の取組（「世界のウチナーンチュ大会」「世界のウチナーンチュの日」「沖縄21世紀ビジョン」等） 歴史・文化：沖縄の歴史、伝統文化（エイサー、空手、工芸 等） 平和：沖縄の心、平和教育、平和祈念資料館、平和の礎 等 リーダーシップ研修：地域活性化（沖縄県北部での事例研修、地域活性化事業案作成 等） 意見交換：県内の若手日系リーダー、市町村の青年会、世界うちなーんちゅビジネスアソシエーション沖縄（WUB）・世界若者ウチナーンチュ連合会（WYUA）との交流 等	他の日系研修との連携あり 本研修と並行して実施される「地域ブランドを活用した6次産業化とスマート農業による日系農業コミュニティ活性化及びネットワーク強化」コースとの帰国後の相乗効果を企図して、一部合同で講義・実習を行う。

2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
34	沖縄	集団	－	新規	C34	農業開発/農村開発	地域ブランドを活用した6次産業化とスマート農業による日系農業コミュニティ活性化及びネットワーク強化	Nikkei Agricultural community and network enhancement through "6th Industrialization" and "Smart farming" based on local branding experience in Okinawa.	12（15名まで可）	下	10/2	11/1	特定非営利活動法人レキオウイングス	NPO Lequio Wings	https://lequiowings.org/	串間　武志	KUSHIMA Takeshi(Mr.)	info@lequiowings.org	日系社会で農業に関する事業に携わっているもの	不問	不問	不問	不問	通訳配置可能性有	地域ブランドを活用した農産物の6次産業化、スマート農業等による研修員所属の日系農業コミュニティの活性化が実践される	1．　地域ブランドを活用し、農産物に付加価値をつけ販売を行う6次産業化のノウハウが習得される 2．　AIやIoTを活用したスマート農業についての事例を学ぶ 3．　沖縄の企業と中南米の日系農業関係者等の双方の人的ネットワークが強化される 4．　沖縄の企業とのビジネスの可能性等を含む自国の日系農業コニュニティー活性化事業が提案される	沖縄県における地域ブランドを活用した6次産業化及びスマート農業への取り組み＝「挑戦」を明確にし、その「挑戦」に対応する「経験」を共有する。この「経験」を十分に「消化」し、自国での日系農業コミュニティ「アクションプラン」につなげ、更に研修を通じて出会う人々と「ネットワーク」の構築を研修コースの運営方針とする。これを実現するための研修内容は以下のとおり。 （目標） 1．地域ブランドを活用し、農産物に付加価値をつけ販売を行う6次産業化のノウハウが習得される 1-1　沖縄県における地域振興とブランディング戦略を学ぶ 1-2　地域資源の発掘から6次産業化のノウハウを習得する 2．AIやIoTを活用したスマート農業についての事例を学ぶ 2-1　スマート農業で生産の安定化、効率化、収量向上に取り組む事例を知る 3．沖縄の企業と中南米の日系農業関係者等の双方の人的ネットワークが強化される 3-1　沖縄の企業が有する優位性やニーズを把握する 3-2　帰国沖縄をはじめ、研修を通じ出会う多く人々との人的ネットワーク構築について検討する 4．沖縄の企業とのビジネスの可能性等を含む自国の日系農業コニュニティー活性化事業が提案される 4-1　日系農業コミュニティ活性化を目指すプロジェクトの策定方法を習得する 4-2　自国で実施するアクションプランを策定する	
35	札幌	個別長期	－	継続	L1	保健医療	作業療法学	Occupational Therapy	1	上	5/8	2/7	札幌医科大学	Sapporo Medical University	https://web.sapmed.ac.jp/	作業療法学科 学科長 松山　清治	MATSUYAMA Kiyoji(Mr)	matsuk@sapmed.ac.jp	現地の作業療法士資格を有している者	学士又は同等程度の学力	2年	不問	日本語能力試験N3以上	－	基礎的作業療法を理解し、日本における作業療法の役割や機能を説明できること。	1．成人中枢神経障害、運動器障害、発達障害、精神障害に対する作業療法 2．高齢者の在宅・施設生活での作業療法 3．作業療法研究法	1．学部・大学院授業の聴講 2．臨床作業療法の見学 3．作業療法関連学会、技術講習会への参加 4．日本人学生・大学院生との交流会 5．現地の関連施設の見学	
36	札幌	個別長期	－	継続	L2	保健医療	理学療法学	Physical Therapy	1	上	5/8	2/7	札幌医科大学	Sapporo Medical University	https://web.sapmed.ac.jp/	理学療法学科 学科長 小塚　直樹	KOZUKA Naoki(Mr)	kozuka@sapmed.ac.jp	現地の理学療法士資格を有している者	学士又は同等程度の学力	2年	不問	日本語能力試験N3以上 ※N1-2相当者は、経験年数要件を緩和する場合がある。	－	基礎的理学療法を理解し、日本における理学療法の役割や機能を説明できること。	1．成人中枢神経障害、小児発達障害の理学療法 2．運動器障害（スポーツ障害を含む）の理学療法 3．地域における高齢者に対する理学療法サービス（介護予防を含む） 4．理学療法研究法	1．学部・大学院授業の聴講 2．臨床理学療法の見学 3．理学法関連学会、技術講習会への参加 4．理学療法関連実験への参加 5．日本人学生・大学院生との交流会 6．現地の関連施設の見学	
37	札幌	個別長期	－	継続	L3	農業開発/農村開発	ドローン・リモートセンシング技術による農地、森林、環境資源管理とモニタリング	Management and Monitoring of Farmland, Forest and Natural resources by using Drone and Remote Sensing technology	4	上	相談可	8/31	酪農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 金子　正美	KANEKO Masami(Mr)	tech@rakuno.ac.jp	表計算ソフトの操作など、基本的なコンピュータ操作が可能なこと。(リモートセンシングソフトの操作については問わない)	不問	不問	不問	英語または日本語で意思疎通ができる者	または英語	農業、森林、環境管理に必要なGIS技術、GPS技術、マイクロ波リモートセンシング技術、ドローンの活用技術を習得する。	1）GIS技術：GISソフトArcGISの基本的な操作、解析手法を習得する。 2）GPS技術：GPSによる農地計測、デジタルカメラとGPSを利用した農地管理。野生動物へ装着するGPSによる野生動物の行動解析手法を習得する。 3）リモートセンシング技術：ドローン、Erdasimagine、ENVI、SNAPなどリモートセンシングソフトを利用し、Sentinel-1、Landsat、Alosなどの人工衛星画像や空中写真などから、緑地抽出手法、収量予測手法などを習得する。	1.GIS技術演習 2.GISデータ を収集整備 3.GIS、リモートセンシングを活用した森林管理（REDD）や野生動物管理に関するJICA研修への参加 *使用する機器及びソフトの一部は、帰国後にも利用できるよう、本学が提供する。 *新型コロナウイルで来日が叶わない場合はオンライン対応も可。	応募締切は5月末日コースの締切日
38	札幌	個別長期	－	継続	L4	農業開発/農村開発	ドローン・GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法	Management of Farmland, Forest and Wildlife habitat by using Drone, GIS, GPS and Remote Sensing technology	4	上	相談可	2/28	酪農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 金子　正美	KANEKO Masami(Mr)	tech@rakuno.ac.jp	表計算ソフトの操作など、基本的なコンピュータ操作が可能なこと。(リモートセンシングソフトの操作については問わない)	不問	不問	不問	英語または日本語で意思疎通ができる者	または英語	農業、森林、環境管理に必要なGIS技術、GPS技術、マイクロ波リモートセンシング技術、ドローンの活用技術を習得する。	1）GIS技術：GISソフトArcGISの基本的な操作、解析手法を習得する。 2）GPS技術：GPSによる農地計測、デジタルカメラとGPSを利用した農地管理。野生動物へ装着するGPSによる野生動物の行動解析手法を習得する。 3）リモートセンシング技術：ドローン、Erdasimagine、ENVI、SNAPなどリモートセンシングソフトを利用し、Sentinel-1、Landsat、Alosなどの人工衛星画像や空中写真などから、緑地抽出手法、収量予測手法などを習得する。	1. 基礎GIS、応用GIS、GIS・リモートセンシングによる空間情報の科学、リモートセンシング基礎演習 2. GIS専門演習 3. 実際のGISデータ、衛星画像等を活用したデータベースの構築 4. 研究成果発表 5. 東京・京都などの先進地訪問 6. GIS、リモートセンシングを活用した森林管理（REDD）や野生動物管理に関するJICA研修への参加 *使用する機器及びソフトの一部は、帰国後にも利用できるよう、本学が提供する。	応募締切は5月末日コースの締切日
39	札幌	個別長期	－	継続	L5	栄養改善	食品科学と栄養管理	Food Science and Nutrition Management	2	上	5/8	3/5	酪農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 石井　智美	ISHI Satomi(Ms)	ishii@rakuno.ac.jp	栄養や料理に関心を持っていること	不問	不問	不問	日本語能力試験N2以上が望ましい	または英語、スペイン語（ある程度まで）	① 食品科学と栄養学の見地から、出身国に最適な栄養管理を行う技術を習得する。 ② 生活習慣病の予防のため公衆衛生、栄養疫学的知見から高齢者栄養等、ライフステージにあった真摯が出来る力をつける。 ③　日本の家庭料理、専門料理を学び、日本の食文化に対する造詣を深める。	① 特別な道具を使わずに、最終的には医療費を削減し、高齢社会でヒトとしての尊厳を守り日々のQOLを維持するための指導力の根幹となる。 ② 具体的な疾病の栄養管理法、傾国後、公衆栄養学的見地から、疾病予防、栄養疫学の手法を習得することで、母国の栄養調査法行のための有益な人材となり、最新の栄養の情報を分かりやすく伝えるとともに、栄養をかした社会活元が出来る。 ③ 日本の家庭料理、専門料理について、栄養学、食品科学、調理学の見地から体系的に学ぶことで、傾国後日系社会の年齢層に合った料理講習会、各種講演会を運営する。それにより食と健康の啓蒙活動を進め、日系社会を支えて行く担い手となる。	研究員の希望を考慮し話し合いのもとで研修プログラムを作成し進める。前半は希望する授業に参加し、研究室で食品学、栄養学の研究と開発、日本の家庭料理、専門料理の実習、特別食の実習、栄養疫学、日本の食文化に関する研究や、科学的な見地から疾病と食に関する継続した特別演習を行う。後半は「国民健康・栄養調査」に関する演習・研究を加える。関心があれば傾国後の調査の支援を行う準備をする。食品、微生物系の実験技術の修得も可能である。各種専門学会への参加、伝統的な日本の食の研修旅行も行う	
40	横浜	個別長期	－	継続	L6	自然環境保全	持続可能な農業を目指した土壌保全対策に関する研修	Training on Soil Conservation Strategies for Sustainable Agriculture	2	上	5/8	11/16	特定非営利活動法人　環境修復保全機構	Institute of Environmental Rehabilitation and Conservation	www.ereconｐ.jp	河邊久美子	KAWABE Kumiko(Ms.)	hq-ereconｐ@nifty.com	環境や農業に関連する知識または経験を有するものが望ましい	不問	不問	不問	日常会話ができるものが望ましい	日本語での日常会話が難しい場合、英語能力の高ければ研修受講可能です。	地域に適応した持続可能な農業を目指した土壌保全対策を確立できる人材育成を行うことが研修目標であり、そのために持続可能な農業のための様々な農法、土壌管理手法、生物多様性の評価手法、土壌物理性・化学性の分析技術、参加型農村調査法（PRA）、プロジェクトサイクルマネジメント（PCM）の習得を目指す。	中南米で適用可能な持続可能な農業の発展を目指して以下を習得する。 1. 持続可能な農業を目指した土壌保全対策を提案できる。 2. 中南米で適用可能な持続的農法を習得する。 3. 土壌管理および生物多様性の保全に関する体系的な知識を習得する。 4. 参加型農村調査法（PRA）を習得する。 5. プロジェクトサイクルマネジメント（PCM）を習得する。	1. 実習：有機農業資材の作成法、有機農業実習　等 2. 演習：住民参加型手法（PRA）、プロジェクトサイクルマネジメント（PCM）等 3. フィールドワーク：日本の里地里山で適用されている土壌保全対策とAgro-Biodiversityの見学 4. 講義：Soil Physics、Agriculture and Environment、里山保全、地形地質学、地域環境保全学、Agro-Environmental Engineering、Farmland Environment、測量実習　等 5. 実験：自然資源利用・管理に関する草炭実験、基礎実験 6. 調査：土壌中動物の多様性に基づいたAgro-Biodiversityの評価　等 7. セミナー：各種科目のセミナー、他大学院生との意見交換　等 8. 発表：中間発表と最終発表を予定。内外から有識者の出席を得て実施	研修実施団体情報(参考)： 1．特定非営利活動法人　環境修復保全機構 (ERECONｐ)HP: www.ereconｐ.jp 2．東京農業大学地域環境科学部（TUA）: www.nodai.ac.jp	
41	横浜	個別長期	－	新規	L7	教育	実技（筝曲・三弦）個人レッスン、学習の受講	Practical private lessons,Lectures on compulsory subjects	1	上	5/8	3/8	公益財団法人正派邦楽会	Seiha hogaku-kai	seihahogaku-kai.or.jp	奥田　智之	Mr.OKUDA	utanoichiokuda@gmail.com	正派邦楽会が定める普通部必須曲（新鳥籠、六段の調）が演奏できる技芸レベルであること。本コースが10ヶ月間で専門部レベルにまで育てることを目的としているため。 或いは、音楽大学卒業レベルの能力があれば、箏曲経験は不問。	左記のとおり	３年以上 箏曲の基礎技術、基礎知識を持つ程度	不問	本コースが技芸に比重を置くため、検定レベルは不問であるが、日常会話や簡単な読み書きが出来ることが望ましい。	講義の課題等もレポート提出する際は、日本語ではなく、英語でも可。	①研修員が本場日本で古典芸能の本質に触れ、経験豊富な教師に習いながら技芸を研鑽し、複数回の発表の場を経て、専門性の高い優れた技法と表現法を身につける。 ②講義により理論や歴史などを学び、専門知識を身につける。 ③上記①②に加え、教授資格を取得するために必要な訓練（読譜、作譜、聴音等）を行う。	①研修員に、古典芸能箏曲の実技が習得される ②上記①により研修員が帰国後、プロの演奏家として活動する ③教授資格を取得する能力が習得される ④上記③により研修員が教授資格を取得すれば、傾国後、ブラジルで教授活動を行い、正派邦楽会の事業目的であるブラジル日系人社会での普及へと繋がる。 ④研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。	1. 講　　義：日本音楽史、日本文化史、箏曲史、邦楽鑑賞(技芸鑑賞)、箏曲歌詞解明等 2. 実技研修：生田流箏曲古典（実技）、生田流箏曲現代曲（実技）、地歌三弦（実技）、 3. 見　　学：和楽器製造工場、興行舞台裏 4. 発　　表：研修期間内3回（7月、12月、3月）に財団本部会館内ホールで有観客にて開催。	令和4年1月公益財団法人正派邦楽会は東京都武蔵小金井市に移転予定。 財団法人が定める資格試験（准師範試験）費用は試験地によって異なるが、50万円程度である。	
42	横浜	個別長期	－	継続	L8	保健医療	日系医学	Nikkei Medical Doctor	4	下	下半期いずれかで相談	6か月以内	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	大学等研修受入機関の内諾を得ていること	大学医学部卒業	1年	不問	原則、日本語で実施	研修実施場所において英語での研修が可能であり、 かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談	研修員が、医学における各専門分野の最先端技術に関する知識及び技術を習得する。	1. 研修員に、各専門分野における最先端医療の知識が向上される。 2. 研修員に、各種医療機器の操作技術が習得される。 3. 研修員に、各専門分野における診断技術が習得される。 4. 研修員に、各専門分野における手術技法が習得される。 5. 研修員に、術後ケアに関する知識及び技術が習得される。 6. 研修員が、研究ネットワークを構築する。	研修は担当医師の指導によるOJTにより実務研修を中心に実施される。ただし、原則、臨床修練制度を活用しない範囲とする。 1. 臨床例による座学 2. OJTによる診断技術 3. 医療機器の操作技術 4. 手術見学 5. 現地の臨床例の研究・評価 6. 学会参加・発表	・応募締切は10月末日コースの締切日です。 ・本コースに応募されるまでに、応募者ご自身で希望の大学等研修受入機関にコンタクトを取り、内諾を得るようにお願いします。
43	横浜	個別長期	－	継続	L9	保健医療	日系歯学	Nikkei Dentist	4	下	下半期いずれかで相談	6か月以内	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	大学等研修受入機関の内諾を得ていること	大学歯ｎ	1年	不問	原則、日本語で実施	研修実施場所において英語での研修が可能であり、 かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談	研修員が、歯学における各専門分野の最先端技術に関する知識及び技術を習得する。	1. 研修員に、各専門分野における最先端医療の知識が向上される。 2. 研修員に、各種医療機器の操作技術が習得される。 3. 研修員に、各専門分野における診断技術が習得される。 4. 研修員に、各専門分野における手術技法が習得される。 5. 研修員に、各専門分野における術後ケアに関する知識及び技術が習得される。 6. 研修員が、研究ネットワークを構築する。	1. 各専門分野における最先端医療の知識向上 2. 各種医療器具の操作技術 3. 診断技術 4. 手術技法 5. 術後ケア 6. 研究ネットワーク構築	・応募締切は10月末日コースの締切日です。 ・本コースに応募されるまでに、応募者ご自身で希望の大学等研修受入機関にコンタクトを取り、内諾を得るようにお願いします。
44	横浜	個別長期	－	継続	L10	保健医療	日系保健福祉	Nikkei Social welfare and Public Health	4	下	下半期いずれかで相談	6か月以内	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	大学等研修受入機関の内諾を得ていること	医療福祉分野の専門教育を受けている者またはそれに準ずる能力を有する者	1年	不問	原則、日本語で実施	研修実施場所において英語での研修が可能であり、 かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談	研修員が、保健福祉における各専門分野の最先端技術に関する知識及び技術を習得する。	1. 研修員に、各専門分野における最先端医療福祉の知識が向上される。 2. 研修員に、各種医療器具等の操作技術が習得される。 3. 研修員に、各専門分野における診断技術が習得される。 4. 研修員に、各専門分野における指導技術が習得される。 5. 研修員が、研究ネットワークを構築する。	1. 各専門分野における最先端医療福祉の知識向上 2. 各種医療器具等の操作技術 3. 診断技術 4. 指導技術 5. マネージメント 6. 研究ネットワーク構築	・応募締切は10月末日コースの締切日です。 ・本コースに応募されるまでに、応募者ご自身で希望の大学等研修受入機関にコンタクトを取り、内諾を得るようにお願いします。
45	横浜	個別長期	－	継続	L11	都市開発・地域開発	日本の伝統的造園施工技術	Traditional technology for construction of Landscape Architecture in Japan	1	上	上半期いずれかで相談	11月上旬または12月上旬(開始日より異なります)	学校法人東京農業大学	Tokyo University of Agriculture Educational Cooperation	http://www.nodai.ac.jp/	グローバル連携センター　鈴木	SUZUKI	go-study@nodai.ac.jp ss207656@nodai.ac.jp	11月上旬または12月上旬(開始日より異なります)	不問	2年	不問	不問	英語	各国でつくられてきた日本庭園をはじめとし、各空間にみられる植栽・施工管理に応用できる日本の伝統的植栽や施工管理技術の基礎を習得する。	1)主要な日本庭園で使われる材料（植物，無機物）の習得 2)植物管理の意義と手法の習得 3)基本的な庭園技術(竹垣等)の習得	1. 講義：①日本庭園の構成，②日本庭園の材料（植物・無機物），③日本庭園の材料の扱い方，④都市空間への応用技術 2. 実習：植物管理（剪定）の手法，竹垣の製作技術，土壌管理・分析法 3. 見学：東京都内，京都，地方（石川県や鹿児島県，島根県）の日本庭園	・応募締切は5月末日コースの締切日です。 ・研修期間は来日より約6か月を予定しています。	
46	横浜	個別長期	－	継続	L12	農業開発/農村開発	日本の伝統的稲作技術に関する研修	Training on Japanese Traditional Rice Cultivation Techniques	1	上	5/8	11/11	一般財団法人アジア農業協同組合振興機関	The Institute for the Development of Agricultural Cooperation in Asia	www.idaca.or.jp	中嶋　透	NAKASHIMA Toru(Mr.)	nakashima-idaca▲j.email.ne.jp	若手の稲作生産者でリーダーの立場にある者	不問	15年以下	不問	農作業の指示が理解でき、一般的な日常会話ができる	不問	研修員が、日本の農家が持つ伝統的稲作技術（雑草イネ防除、適正施肥などを含む）や無農薬による稲作技術、米の収穫後処理技術やブランド米の開発・流通に係る知見を習得する。	1) 研修員が日本の農家が持つ伝統的稲作技術（雑草イネ防除、適正施肥などを含む）や無農薬による稲作技術を習得する。 2) 研修員が日本の米の収穫後処理技術を習得する。 3) 研修員が日本のブランド米の流通や開発に係る知見を習得する。 4) 研修員が帰国後の活動計画を作成する。	1) 講義：日本の農業、農協に関する講義、無農薬による稲作技術に関する講義 　　日本のブランド米の流通・開発に関する講義（埼玉県農業技術研修センター） 2) 実習：OJT：株式会社はせがわ農園にて伝統的稲作技術、米の収穫後処理技術を習得 　　有限会社アールキューブエコにて無農薬による稲作技術を習得 3) 見学：秋田県大潟村・JA大潟村の大規模稲作農家を視察 4) 発表：研修最終日	●研修員が特に果樹（日本梨）への興味があれば別途研修に応じます。 ●場合によっては、8月中旬1週間くらいのお休みは可能です。ただし、果樹への興味があれば要相談。（お休みの場合には、祖父母の故郷への帰郷の可。）	

2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
47	横浜	個別長期	－	継続	L13	環境管理	家畜寄生虫病および人獣共通寄生虫病の診断予防技術	Diagnosis and control for epizootic and zoonotic parasitoses	2	上	5/8	2/7	麻布大学	Azabu University	https://www.azabu-u.ac.jp/english/	平　健介	TAIRA Kensuke(Mr.)	taira@azabu-u.ac.jp	生物学の基礎知識を持つ者、畜産あるいは公衆衛生学に関わる者、臨床検査技師や薬剤師の資格保持者等	不問	不問	不問	日本語または英語にてコミュニケーションが可能な方。 また、来日してから日本語の勉強をしてもらう。	左記のとおり	1.獣医衛生および公衆衛生に関する知識の蓄積および寄生虫病の診断・予防技術の習得。 2.食品由来病原体制御のための国家間情報ネットワークの構築。 3.日系社会における畜産や水産業発展たための技術の習得。 4.日本の文化、社会および国際的立場についてのよりー層の理解。	研修員は、獣医衛生および公衆衛生上重要な動物および魚類の寄生虫病の診断、治療、予防に関する知識、技術および考え方を習得し、これらを活用して、寄生虫病予防対策に係わる情報資源の作成・配信の方法を学ぶ。	1.講　義：動物（魚類を含む）の寄生虫病および人獣共通寄生虫病の診断予防法、原虫、蠕虫、衛生節足動物などの検出法および同定法などについて学ぶ。 2.　実習： (1)糞便内虫卵検査（浮遊法、沈澱法、定量的検査法）。 (2)宿主培養（びん培養、濾紙培養、瓦版培養）、胃腸内線虫感染子虫の形態による種同定。 (3)糞塗寄生虫の観察と同定。 (4)血液標本の作製、観察と同定：　肝蛭、線形吸虫、双口吸虫、鎖蛭、日本住血吸虫など。 (5)間宿主貝体内の吸虫の発育観察：ミラジジウム、スポロシスト、レジア、セルカリア等。 (6)血液標本の作製と観察：ベネデン条虫、拡張条虫、単包条虫、多包条虫等。 (7)ダニ類の観察と標本作製法と同定：マダニ、ヒゼンダニ、ワクモ、イエダニ等。 (8)昆虫類の観察と同定：ノミ、シラミ、ハジラミ、カ、ゴキブリ等。 (9)分子生物学的手法（PCR、Real-time PCR、LAMP法等）を用いた寄生虫同定法。 (10)寄生虫感染に対する宿主免疫反応の観察。 3.見学：家畜保健所、家畜診療所、食肉衛生検査所、水産試験場、大学の研究センター等。 4.講演・セミナー：国内学会参加、研究室のセミナー参加。 5.発表：学内あるいは国内の研究会や学会、農終日の研修報告。 以上の他に、研修者の要望を聞き、当人が学びたい技術をできるだけ習得させる。	研修受け入れ時期や期間については相談に応じます。
48	中国	個別長期	－	継続	L14	民間セクター	日本社会におけるビジネススキルの習得及び日系アイデンティティの涵養	Learning Business Skills in Japanese Society and Cultivating Japanese (Nikkei) Identity	1	上	5/8	11/下旬	島根県	Shimane Prefectural Government	http://www.pref.shimane.lg.jp/	増田　絢子	MASUDA Ayako(Ms.)	bunka-kokusai@pref.shimane.lg.jp	・日系団体の青年部等に所属している者、または今後所属する意思がある者で、当該団体からの推薦を得られること（島根県にルーツが有る者が望ましい） ・企業での勤務経験1年以上	大卒（相当）	1年	21-50	N4程度以上が望ましい（日本語での研修が中心となるため、日常生活でのコミュニケーション能力重視）	－	島根県内の企業での研修をとおし、日本企業における人材管理・経営方法等の知識・技術を習得するとともに、自身のルーツとなる土地や日本文化を知り、日系アイデンティティの涵養を図る。	1.日本企業の経営方法・人材管理・その他専門知識等の概要が理解される。 2.自身のルーツ（島根県、日本文化等）に関する知識が習得される。 3.帰国後に自国で導入可能な制度や活動が整理される。	1.企業におけるインターンシップ：(1)組織運営、人材管理、(2)イベント等企画・実施、(3)広報・広告デザイン業務等に関する実習 2.日本文化等に関する視察・実習 3.関係者への研修結果の報告	
49	中国	個別長期	－	継続	L15	農業開発/農村開発	観光果樹園経営及び果樹栽培収穫技術に係る長期研修	Management of Tourist Fruit Farm and Cultivation Technique of Fruits (Long Term)	1	上	5/8	11/18	公益財団法人ひろしま国際センター	Hiroshima International Center	http://hiroshima-ic.or.jp/	迫本　啓吾	SAKOMOTO Keigo(Mr.)	hiocl2@hiroshima-ic.or.jp	日本語で研修受講が可能な語学力を有していること。	大卒（相当）	不問	21-50	N3以上（日常会話程度以上）	－	1.果樹（イチゴ、スモモ、ブルーベリー、モモ、プドウ等）の先端的栽培及び収穫に係る技術を習得する。2.加工技術と商品化、マーケティングのノウハウを習得する、3.観光果樹園の経営手法を習得する。	1.果樹栽培管理技術の向上、2.加工品の商品化、販売ルートの開拓、観光果園経営の成功。	平田観光農園の業務に従事し、実習を積み重ねて技術を習得する（最も重要な開花期の受粉から収穫までを研修する）。	
50	中国	個別長期	－	継続	L16	都市開発・地域開発	伝統的産品を活用した地域ブランドの創出と地域の活性化	Developing a local brand and activating local community by utilizing the community's traditional products	1	上	5/8	11/11	公益財団法人ひろしま国際センター	Hiroshima International Center	http://hiroshima-ic.or.jp/	迫本　啓吾	SAKOMOTO Keigo(Mr.)	hiocl2@hiroshima-ic.or.jp	手芸、デザイン等の分野での地域産品の開発に関心があること。経験があれば、より高い研修効果を期待できる。	大卒（相当）	不問	21-50	N3以上（日常会話程度以上）	－	1.「工房尾道帆布」における実習を通して尾道の地域産品（帆布）を活用した地域特産品の製造、販売、マーケティング等の取組みを学び、帰国後の日系社会における地域資源の再発見・活用につながる力を養う。 2.「工房尾道帆布」や尾道の地域再生に取組む人々との交流を通じ、地域課題解決における住民の主体的な関与の大切さや地域活性化の方策について知見を得る。	1.研修員に、「工房尾道帆布」の事例を通して、地域資源の再発見と活用、地域特産品開発を通じた地域課題の解決、地域再生の知見が習得される。 2.研修員に、日本の地方コミュニティにおける課題（人口減少、アイデンティティの喪失、地域資源の活用等）が理解される。 3.研修員の母国において応用可能な技術、手法が整理される。 4.帰国後の具体的な活動計画が作成される。	1.講義：「工房尾道帆布」における地域特産品開発と地域再生の取組み。 2.実習・OJT：「工房尾道帆布」における地域特産品の製造、販売、マーケティング等。 3.見学：関連他団体の施設・活動。 4.演習：研修成果の取り纏め。 5.発表：関係者へ研修成果を発表。	
51	中国	個別長期	－	継続	L17	農業開発/農村開発	日本式の高品質肉牛生産のための効率的・効果的な生産、繁殖、健康管理	New efficient and effective production, reproduction and health management for high quality beef based on Japanese Cattle farming system	1	上	5/8	2/24	国立大学法人山口大学	Yamaguchi University	http://www.yamaguchi-u.ac.jp/	上田　眞広	UEDA Masahiro(Mr.)	sh031@yamaguchi-u.ac.jp	・基本的な動物についての知識を身に付けていること。 ・獣医師でなくても、畜産農家の子弟や畜産関係者や就農希望者であれば可能。 ・異文化の中で多くの人と一緒に働くための適応力と協調性。 ・好奇心旺盛で勉強好きであること。	大卒（相当）	不問	21-50	N4レベルが望ましい（英語でコミュニケーションが出来れば問題ない）	－	最新の畜産学・獣医学の知見の習得と共に、高品質畜産物の生産現場での実習に基づき、生産農家の子弟や畜産関係者や就農希望者に円滑に進めるための問題要因を抽出・解析する能力を習得し、新しい効果的な疾病予防、繁殖、衛生管理等を含む総合体系を導入・展開するための基盤を習得する。	1.高品質畜産物を生産するとて求められる最新の栄養学、生理学、衛生学等の獣医学、生産効率向上と繁殖についての知識・知見の習得、2.国際中央の格付け方法の習得、3.生産に関わる細胞や遺伝子について、分子レベルや細胞レベルでも家畜生産について考える能力の習得、4.牛肉生産施設訪問を通じた改善ポイントの習得。	1.最新の栄養学、生理学、衛生学等の講義と実習、2.牛肉の格点付方法、3.生産に関わる細胞の培養や遺伝子発現解析、4.臨床獣医師養成用の実習参加、5.牛肉生産施設訪問。	
52	四国	個別長期	－	継続	L18	保健医療	歯科補綴学	Prosthodontics	2	上	5/8	3/7	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/dent/	松香　芳三	MATSUKA Shozo (Mr)	tsuka@tokushima-u.ac	対象国における歯科医師免許	大学卒業	3年以上の臨床経験があることが望ましい。経験3年未満の方の場合、患者を実際に治療する臨床研修は日本の法律により不可能である。	不問	日本語または英語によるコミュニケーションがある程度可能であること。	日本語または英語によるコミュニケーションがある程度可能であること。	歯科補綴治療に関する先進技術の習得と最新の知見を学習する能力を身につける。	1.　最新の歯科補綴治療技術（接着ブリッジ、インプラント義歯、CAD/CAM冠など）の習得 2.　上下顎のかみ合わせの状態に対する診断技術の向上 3.　口腔顔面痛に対する治療技術の習得 4.　金属アレルギーの治療技術の習得	教室主催のセミナー・論文抄読会・症例勉強会への参加、マネキンを用いた基礎実習、コンピュータを利用した補綴装置の設計や削りだしの実習、関連学会への参加を予定している。また、現在教室で行われている研究（睡眠時ブラキシズムの解析、組織再生、金属アレルギー解析、口腔顔面痛発症メカニズムなど）にも参画し、大学院進学が可能となるように研究指導を行う。なお、受け入れ担当者は、日本補綴歯科学会、日本顎関節学会、日本口腔顔面痛学会、日本口腔リハビリテーション学会の指導医である。	
53	四国	個別長期	－	継続	L19	保健医療	歯科矯正学	Orthodontics	1	上	5/8	3/7	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/dent/	田中　栄二	TANAKA Eiji (Mr)	anaka@tokushima-u.ac	対象国における歯科医師免許	大学卒業	3年以上の臨床経験があることが望ましい。経験4年未満の方の場合、患者を実際に治療する臨床研修は日本の法律により不可能である。	不問	日本語または英語によるコミュニケーションがある程度可能であること。	日本語または英語によるコミュニケーションがある程度可能であること。	矯正歯科治療に関する高度な技術の習得と最新の知見を学習する能力を身につける。	・最新の矯正歯科技術（リンガルブラケット矯正歯科治療、インプラント矯正歯科治療、外科的矯正歯科治療、口唇裂口蓋裂時の矯正歯科治療、マウスピース矯正歯科治療）の習得 ・顎顔面領域のMRI、CTなどの画像データを用いた診断技術の向上 ・変形性顎関節症患者に対する治療技術の習得	エッジワイズ法に関するタイポドント実習、教室主催のセミナーや論文抄読会への参加、および関連学会への参加を予定。加えて、現在、当教室で進行している研究（変形性顎関節症の病態解明と治療法の開発、骨免疫学研究）にも参画してもらい、帰国後に母国で学位が取得できるような研究指導を行う。なお、本件担当者は、日本矯正歯科学会の指導医・認定医、日本顎関節学会の専門医、指導医であり、厚生労働省の臨床研修指導歯科医資格（外国人歯科医師指導資格）も有している。	
54	四国	個別長期	－	継続	L20	自然環境保全	自然環境保全を目指したバイオ複合材料の調査研究	Research and edification on bio-composite materials aiming the conservation of natural environment	2	上	上半期いずれか	3/18	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/	長谷崎　和洋	HASEZAKI Kazuhiro (Mr)	ezaki@tokushima-u.ac	理系大学在学中または卒業	左記資格の通り	不問	不問	ポルトガル語で会話できる教員が在籍しているため、ポルトガル語を話せる場合は日本語能力不問（ただし、研修期間中の徳島大学が開催する日本語教室を必ず受講すること）。 スペイン語を話せる場合は、日本語能力試験N3以上（ただし、研修期間中の徳島大学が開催する日本語教室を必ず受講すること）。	国際的なレベルの研究を行うため、理系の英語論文読解および執筆能力、研究者とのコミュニケーション英語会話能力は必須。（理系大学卒業者であれば、英語能力は有していると想定）	全世界で自然環境保全を目指したバイオ複合材料が必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得る。 さらに、徳島大学での先進技術を知ることで、日系社会の発展と移住先国の国造りに貢献できる新しい取り組みを検討する。	1.石油由来のプラスチックごみの環境に及ぼす影響について理解することと 2.石油由来のプラスチックに代わるバイオ材料についての知識を得ること 3.最新のバイオ材料の研究動向を知ること 4.自然環境保全を目指したバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること	1.調査：教員から個別のレクチャー、研究室の日本人学生との学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出ならびに解決策の一つであるバイオ材料の現状分析調査を行う。徳島大学で取り組んでいる持続可能な開発目標（SDGｓ）関連研究やニオブ元素利用研究等の先進技術開発設備も見学する。バイオ複合材が研究の一分野である エコマテリアル国際会議（ICEMIS)に参加し、最新の研究動向を情報収集し、大学院進学が可能となるように研究指導を行う。 2.試験計画策定：問題点を解決するためのバイオ複合材料の試作について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。 3.試作試験：バイオ複合材料の試作を行う。 4.分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。 5.解析・まとめ：分析結果から目的としたバイオ複合材料の試作の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。	応募締切は5月末日コースの締切日
55	四国	個別長期	－	新規	L21	地域開発・民間セクター開発	エコツーリズム産業における起業家育成	Entrepreneur education in the ecotourism industry	2	上	5/8	2/3	香川大学	Kagawa University	https://www.kagawa-u.ac.jp/	平見　尚暁	HIRAMI Naotaka(Mr)	hi_naotaka@kagawa-u.a	大学でツーリズム或いは地域イノベーションなどを学習した経験があること、或いは、観光産業での実務経験があること。	不問	大学での学習の場合概ね2年以上、観光産業の場合の実務経験も概ね2年以上程度とする。	不問	日本語検定N2レベルが望ましいが、英語での野コミュニケーション能力がある場合（TOEIC 800点程度）は、必要要件としない。	英語でのコミュニケーション能力がある場合（TOEIC 800点程度）は、必要要件としない。	研修を通じて得られるデータや知見に基づき、新規性のある自国でのエコツーリズムを提案できるレベルの力量を身につけることを研修目的とする。その上で学内の発表イベントやGIPECでのピッチイベントでの提案に対するフィードバックをベースに本国でのエコツーリズムに関する事業提案のブラッシュアップを行う。研修修了時には母国の日系社会で共感を得られ、事業開始に結び付けることができるレベルの提案に仕上げることを目標とする。	本事業提案の受入代表者である平見（香川大学創造工学部教授）はスペイン語、英語（書籍多数）が堪能であることから、大学で教鞭をとる傍らこれも中南米のエコツーリズムスポットを数多く訪問し、本産業に関しての調査・研究を行い、そのポテンシャルの高さを講演や論文を通じて紹介している。一方、平見は広島大学で6年程、産学官連携やアントレプレナー教育に携わっており、新たな産業構築のための教育に注力してきた。さらにJICA日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修プログラム事業で2017年から合計で11人のメキシコ人研修生を受け入れてきた実績がある（内4名は現在オンラインで研修中）。日系社会研修事業では、この間に培われたアントレプレナー教育に関する講義やゼミを中心とした、教育プログラムをベースに新たな事業提案を行う能力を身につけてもらう。そのとて日本におけるエコツーリズムに対する期待と実態を調査頂き、現地社会であるべきエコツーリズムを提案できる技術と力量を身につけていただく。帰国後は現地日系社会を巻き込み、事業の具体化を進めることで、形式にとらわれない実質的な日系ネットワークの構築に結び付けていただく。	1.研修員に、香川大学内の講義の聴講及びゼミ形式での議論を進めていく。また、「新日本ガラパゴス研究会」メンバーとの討議を投げ、エコツーリズムに関しての理解を深める。 2.日本文化等に関する視察・実習 3.起業家を目指す学生クラブの各部員との関係も構築する。 4.エコツーリズムに関しては、香川大学内の講義の聴講及びゼミ形式での議論を進めていく。また、「新日本ガラパゴス研究会」メンバーとの討議を投げ、エコツーリズムに関しての理解を深める。 5.主として中四国地方のエコツーリズムスポットを訪問し、日本のエコツーリズムの実態を知ってもらう。 6.Global First Penguin Club(GIPEC)のメンバーとのつながりを深め、コメントなどをもらいながら進めていき、研修修了時にはこのピッチイベントで発表を行うことを目標にする。	1.来年度同時期に予定されているJICA日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修プログラム事業とできる限り並行に行えるようカリキュラム日程を調整、研修員間のシナジー効果を出していく。 2.創造工学部　造形・メディアデザインコースのエンジニアリングデザインスタジオ所属する学生と日系研修員との協働が期待される。研究と同時に日本の文化や若い世代の考え方などを知っていただく良い機会とする。 3.起業家を目指す学生クラブの各部員との関係も構築する。 4.エコツーリズムに関しては、香川大学内の講義の聴講及びゼミ形式での議論を進めていく。また、「新日本ガラパゴス研究会」メンバーとの討議を投げ、エコツーリズムに関しての理解を深める。 5.主として中四国地方のエコツーリズムスポットを訪問し、日本のエコツーリズムの実態を知ってもらう。 6.Global First Penguin Club(GIPEC)のメンバーとのつながりを深め、コメントなどをもらいながら進めていき、研修修了時にはこのピッチイベントで発表を行うことを目標にする。	
56	九州	個別長期	－	継続	L22	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	1	上	上半期いずれかで相談	研修開始から6か月後	国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/imed/en/index.html	森山　智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr.)	tomohiko.moriyama.1538@m.kyushu-u.ac.jp	医師 臨床経験3年以上 内視鏡経験1年以上	医学部	医学部卒業3年以上	45歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習熟できる ・ブタ切除胃を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1.講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2.見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3.実習：ブタから切除した摘器を用いた内視鏡治療の実習 4.学会参加：日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5.発表：医学部内で研修内容を発表	応募締切は5月末日コースの締切日
57	沖縄	個別長期	－	新規	L23	都市開発・地域開発	ウチナーネットワークを活用した持続可能なコミュニティー運営	Sustainable community management using the Uchina network	2	上	5/8	12/15	一般社団法人世界若者ウチナーンチュ連合会	World Youth Uchinanchu Association	https://wyua.okinawa/	比嘉　千穂	HIGA Chiho(Ms.)	all@wyua.okinawa	県系社会で沖縄文化活動に携わっている。	不問	不問	想定年齢(20歳～40歳以下)	日本語能力試験N３（同等レベル、会話力を重視）	－	研修員がウチナーネットワーク継承にかかる運営管理の手法などを習得する。	① 研修員に、世界のウチナーネットワークの全体像が理解される。 ② 研修員に、若者を対象にしたアイデンティティーの強化にかかる企画力が習得される。 ③ 沖縄県内での地域活性化事例を参考にし、研修員が、自国で適応可能なアイデアを考案する。 ④ 研修員が、帰国後の具体的な活動計画を作成する。	1.　講義： ① 沖縄の歴史 ② 沖縄移民の歴史 ③ 世界のウチナーネットワークとは ④ ファンリテーションとは ⑤ 企画作りとは ⑥ ＳＮＳ/動画配信の活用方法 ⑦ しまくとぅば（沖縄の言葉）等 2.　実習・ＯＪＴ： ① 世界のウチナーネットワーク・世界のウチナーンチュ大会にかかる多言語相談対応・情報収集・発信、世界若者ウチナーンチュ大会など若者を対象としたアイデンティティー継承への企画、ソーシャルメディアを活用した広報、他 3.　見学：他団体の施設、活動（公的機関、民間）	本研修は、実習・OJT が中心となり相互の言語コミュニケーションが必要なため。 その他：Word、Excelの基本的な操作ができる。 イベントポスターやSNSで活用するバナー制作等デザインに興味がある。	
58	札幌	個別短期	－	継続	S1	栄養改善	食品科学と栄養管理	Food Science and Nutrition Management	2	下	11/6	12/11	酪農学園大学	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 石井　智美	ISHI Satomi(Ms)	ishii@rakuno.ac.jp	栄養や料理に関心を持っていること	または英語、スペイン語（ある程度まで）	不問	不問	不問	日本語での会話ができることが望ましい	栄養学的見地から日本の家庭料理、専門料理を学び、日本の食文化に対する造詣を深め、食を介した多彩で、実現可能な技術を習得し広く、周囲の人に分かりやすく伝える技術を習得する。	日本の家庭料理、専門料理を栄養学、食品科学、調理学など多面的な見地から学び、理解を深め調理技術を習得する。特に日系人の高齢者施設等で、和食の提供機会を増やし、より栄養を考慮して料理を行うなど具体的な貢献を行うことが可能になる。帰国後日系社会の年齢層に合った「食と健康への関心を高める料理講習会」や「各種」を運営するスキルを習得し、食を介して日系社会の活性化に貢献する。	研究員の希望を聞きつつ、日本の家庭料理、専門料理を学ぶ。日系社会にある食材を考慮したダシの取り方、調理法を検討し、代用となる調味料の検討、年代別の献立作成の支援、発酵調味料の作成方法を学ぶ。伝統的な日本の食の研修旅行（京都・大阪・奈良・神戸）も行う。	研修受け入れ時期や期間については相談に応じます。

2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
59	帯広	個別短期	－	新規	S2	保健・医療	地域包括医療（看護と介護）	The Community-based Integrated Care System (Nursing and Caring)	3	下	10/2	11/11	日本赤十字北海道看護大学	Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing	http://www.rchokkaido-cn.ac.jp/	辻 裕昭	TSUJI Hiroaki(Mr.)	jii@rchokkaido-cn.ac	医療関係機関に属する者	不問	医療機関等の関連施設にて3年以上の業務経験を有する方が望ましい。	不問	日本語能力試験N４程度	医療専門用語の使用が想定されるため、必要に応じ通訳の配置を検討予定	地方都市における母子栄養改善から予防医療、介護まで統合的な医療体制を学び、自国で活用するためのアクションプランを作成する。	①研修員に地域社会における医療体制の全体像が理解される。 ②妊娠期から産褥期の母子栄養および幼児期における食育への知見が習得される。 ③成年および老年の健康レベルに応じた適切な医療ケアの技術・知見が習得される。 ④研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。	①日本の地方都市における看護と介護の取り組み ②母子栄養改善の手法、食育への取り組み ③成人病予防の取り組みと成果 ④健康レベルに応じた適切な医療ケアの視点	**本研修実施の意義／現地日系社会への検証効果：** 本研修は、日本の地方都市における地域包括医療への取り組みについて、講義、実習、視察を通して、地域の統合的医療を目指す、地域医療に係る幅広い知見および技術を取得し、各国での実践により地方医療の基盤を構築することで、高齢者、乳幼児から高齢者まで、健康状態に応じた適切なケアへの対応が可能となり、将来的な早産児の死亡率低下や成年・老年の予防医療の促進、末期患者への緩和ケア等幅広い医療ケアに寄与できると考える。 当大学は草の根技術協力にて、モンゴルを対象とした介護研修を実施した経験と、関連機関である北見赤十字病院にて実施したブラジルを対象とした末期患者への緩和ケアにおける医療教育を担当した経験を有しており、また地域医療の中心としてオホーツク地域の医療機関、介護施設、官民学が連携した研修の実施が可能であることから、地域包括医療に係る技術・知見を習得した人材を育成することが可能であり、研修員帰国後は即戦力として日系社会に貢献が可能である。
60	北陸	個別短期	－	継続	S3	社会保障	高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成	Care system and Human resource development in the Welfare for the aged	4	上	7/24（※）	8/12（※）	石川県公立大学法人石川県立看護大学	Ishikawa Prefectural Nursing University	https://www.ishikawa-nu.ac.jp/	牧野　智恵	Makino Tomoe (Ms)	tocen@ishikawa-nu.ac	・健康状態に問題がないこと ・日本語の講義が理解できること	不問	不問	不問	中級（N2程度/会話重視）	不問	日本の高齢化社会で明らかになってきた介護予防について講義等で学び、健康寿命の促進に向けて現地で実践できることを日系社会で行っていく意欲を高める。	1. 日本の高齢者の実態について理解する 2. 高齢者の加齢変化について理解する 3. 介護予防活動に関する知識を習得する 4. 自国における高齢者福祉活動への組織的支援に向けての意識が高まる	（遠隔研修での計画） 1. 講義：日本の高齢者の生活・実態 2. 講義：加齢変化 3. 講義：高齢者の生理学 4. 講義：栄養学の基礎 5. 講義：高齢者の栄養ケア 6. 講義：健康寿命や介護予防の概念 7. 講義：高齢者の運動 8. 講義：高齢者の体力測定 9. 見学/討議：地域における高齢者福祉活動事例 10. 討議：日系社会における介護活動の展開方法 11. 発表：ジョブレポート発表、成果発表 （来日研修での計画） 1. 講義：日本の高齢者医療福祉制度、 高齢者の特徴、 羽咋市の高齢者福祉の概要 2. 見学：小規模多機能ケアホーム、 特別養護老人ホーム、 羽咋市デイサービス、地域サロン、 高齢者筋力トレーニング 4. 討議：高齢者福祉における日本とパラグアイの共通点や相違点、総括討議 5. 発表：カントリーレポート発表、 アクションプラン発表	※2022年度も引き続き遠隔研修（9月）の実施を優先することとし、感染状況によっては、現地関係機関と来日研修の可能性を検討する。
61	北陸	個別短期	－	継続	S4	教育	「日系アイデンティティ涵養・日系史教育教材作成」演習（その１）	Seminar on the Cultivation of the Japanese Identity and the Production of Teaching Materials on the Japanese Immigrants' History-1	2	上	5/8	7/19	国立大学法人金沢大学	National University Corporation Kanazawa University	https://www.kanazawa-u.ac.jp/	太田　亨	Akira Ota (Dr.)	akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp	必要資格：次のいずれかの形で日系文化継承教育に携わる予定がある者 1. 具体的な希望教材制作テーマに関するアイデアを応募時点で有し、事前に大学担当者に相談をすること。 2. 現地日系協会や日本人会組織等が運営する機関において、日系人子弟を含む対象者に対する日系文化継承教育又はその教材制作に携わる者（今後携わる予定がある者も含む） 3. 所属機関や当該専門分野における中堅的人物であること（公的な第三者又は第三者機関による推薦を得るようにすること） 4. パソコン（OS不問）及び電子メール送受信、SNS等の基本操作が支障がないこと	不問	概ね3年以上	不問	日常的な対応が可能（N4以上を目安）	講義や発表が可能（CEFR B2以上を目安）	日系文化継承教育のための教材制作テーマに関する研修を行うとともに、日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などについて体験を交えて深く理解する。また、研修により得られた成果を発表・公表し、当該国の日系文化継承教育のために活用する。	・ 日本（北陸地方）だからこそ入手可能な視覚教材資料の探索と収集 ・ 教材制作に関わる各種スキルの修得 ・日系子弟への教育技能のスキルアップ ・ 日本文化、日本史、現代日本の社会実情などについて、体験学習を交えた深い理解 ・ 成果のプレゼンテーション ・ 修得した技術や成果を研修員の母国の日系社会で広く効果的な還元	1. 講義：日本文化概論，日本史，日本文化史，日本社会概論，日本伝統芸能概論 2. 実習：日本文化・社会プログラム，日本伝統芸能演習，等 3. 見学：学校、文化施設訪問 4. 学会・セミナー参加 5. 成果発表	※実施方法は来日での研修を前提とする
62	北陸	個別短期	－	継続	S5	教育	「日系アイデンティティ涵養・日系史教育教材作成」演習（その２）	Seminar on the Cultivation of the Japanese Identity and the Production of Teaching Materials on the Japanese Immigrants' History-2	2	下	10/2	12/12	国立大学法人金沢大学	National University Corporation Kanazawa University	https://www.kanazawa-u.ac.jp/	太田　亨	Akira Ota (Dr.)	akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp	必要資格：次のいずれかの形で日系文化継承教育に携わる予定がある者、今後携わる予定がある者 1. 具体的な希望教材制作テーマに関するアイデアを応募時点で有し、事前に大学担当者に相談をすること。 2. 現地日系協会や日本人会組織等が運営する機関において、日系人子弟を含む対象者に対する日系文化継承教育又はその教材制作に携わる者（今後携わる予定がある者も含む） 3. 所属機関や当該専門分野における中堅的人物であること（公的な第三者又は第三者機関による推薦を得るようにすること） 4. パソコン（OS不問）及び電子メール送受信、SNS等の基本操作が支障がないこと	不問	概ね3年以上	不問	日常的な対応が可能（N4以上を目安）	講義や発表が可能（CEFR B2以上を目安）	日系文化継承教育のための教材制作テーマに関する研修を行うとともに、日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などについて体験を交えて深く理解する。また、研修により得られた成果を発表・公表し、当該国の日系文化継承教育のために活用する。	・ 日本（北陸地方）だからこそ入手可能な視覚教材資料の探索と収集 ・ 教材制作に関わる各種スキルの修得 ・日系子弟への教育技能のスキルアップ ・ 日本文化、日本史、現代日本の社会実情などについて、体験学習を交えた深い理解 ・ 成果のプレゼンテーション ・ 修得した技術や成果を研修員の母国の日系社会で広く効果的な還元	1. 講義：日本文化概論，日本史，日本文化史，日本社会概論，日本伝統芸能概論 2. 実習：日本文化・社会プログラム，日本伝統芸能演習，等 3. 見学：学校、文化施設訪問 4. 学会・セミナー参加 5. 成果発表	※実施方法は来日での研修を前提とする
63	横浜	個別短期	－	継続	S6	社会保障	日本食の介護食についての知識並びに技能習得	Acquire knowledge and skills about Japanese caring meals	2	下	12/4	3/1	株式会社つくばエデュース	Tsukuba Educe Co.Ltd	http://www.tsukuba-educe.co.jp	飯岡　達郎	Iioka Tatsuro(Mr)	iioka1225@gmail.com	実際に家庭及び地域社会で、介護を必要とする高齢者と接した経験 日系社会でこれから高齢者介護に携わろうとする意志があること	不問	不問	不問	N3以上	不問	研修員が当該地域で適応可能な、日本食に関する知識（下準備、調理方法等）、介護食に関する知識（食材選び、調理方法等）を習得することを目的とする。	①研修員に、日本食の知識、味、作り方の基本が習得される ②研修員に、日本食の介護食の知識、味、作り方が習得される。 ③研修員が前２項を元に、自国で応用可能な日本食・日本食の介護食を作る方法を習得する。 ④研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。	1　講　　義　（介護職員初任者研修講座テキストを使用し指導する） ①　食事に関連したこころとからだの仕組みと自立に向けた介護 ②　家事援助に関する基礎的知識と生活支援 2　実習・OJT　日本食・介護職の作り方の実習 3　見　　学　グループ法人の施設、食事形態 4　演　　習　帰国後の活動計画の作成	
64	横浜	個別短期	－	継続	S7	社会保障	高齢者介護サービスにおける人材育成システム	Human resource developmentin elderly care	2	下	12/4	3/1	株式会社つくばエデュース	Tsukuba Educe Co.Ltd	http://www.tsukuba-educe.co.jp	飯岡　達郎	Iioka Tatsuro(Mr)	iioka1225@gmail.com	実際に家庭及び地域社会で、介護を必要とする高齢者と接した経験 日系社会でこれから高齢者介護に携わろうとする意志があること	不問	不問	不問	N3以上	不問	研修員が当該地域で適応可能な、要介護高齢者に対する介護サービスの技術及び知識を習得し、同様の技術、知識を現地に広めることを目的とする。	①研修員に、日本の高齢者福祉制度の全体像が理解される ②研修員に、日本の高齢者介護手法の技術・知識が習得される。 ③研修員に、日本における介護の基本的資格である介護職員初任者研修のカリキュラム・技術・知識が習得される。 ④研修員が前３項を元に、自国で応用可能な介護技術・介護人材育成のシステムを構築する方法を習得する。 ⑤研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。	1　講　　義　（介護職員初任者研修講座を受講） ①　日本の高齢者介護福祉制度の概要 ②　高齢者の日常生活自立の重要性とケアの視点 ③ コミュニケーション技術 ④ 老化・認知症・障害の理解 ⑤　生活支援技術演習 2　実習・OJT　認知症利用者への接し方 生活支援方法の実習（食事、入浴、排せつ） 3　見　　学　他団体の施設、活動（公的機関、民間） 4　演　　習　直面している問題を分析し、日本の手法の適応を検討し、帰国後の活動計画の作成 5　その他　介護職員初任者研修の資格試験実施 6　学会等　介護事業者の団体である茨城県福祉介護事業協同組合の研修会に参加 7　発　　表　内部及び茨城県福祉介護事業協同組合	宿舎は当法人でも案内することが可能である。なお2018年2019年はJICA筑波を宿舎としており、研修期間中の宜業の問題等にも対応している。
65	横浜	個別短期	－	継続	S8	自然環境保全	環境教育指導者養成研修	Training for Environmental Education Leaders	2	下	10/2	12/1	公益財団法人キープ協会	Kiyosato Educational Experiment Project Inc	http://www.seisenryo.jp/ http://www.keep-or.jp/　・ http://www.seisenryo.jp/en/index.html	佐藤陽介	SATO Yosuke(Mr.)	yosuke.sato@keep-or.jp	社会人として一般的な知識を持った心身ともに健康な方	環境系・教育系いずれかの大学またはそれに準ずる学校の卒業者が望ましい	左記のとおり	不問	N3以上(英語での実施不可)	不問	研修員が環境教育指導者（インタープリター）として、必要な基礎技術と知識を取得する	・環境教育の概要を理解する。 ・インタープリテーション（定義、種類、原則、資質、素材の理解、対象の理解、コミュニケーション、　プログラムデザイン等）の基礎知識を理解する。 ・キープ協会の実践を参考に、自国で学校等の現場で環境教育プログラムを行うことができる。	1. 講義・実習：　環境教育概論、インタープリテーション概論、日本の環境教育、八ヶ岳の自然、森林療法プログラム、プログラム実施と相互評価、体験学習法、プログラムデザイン、スライドプログラム、月例観察会等 2. 実習　プログラムの準備・実施・評価（幼児・小学校・中学校・大人一般・シニア・親子） ※実習が研修の8割を占めます。日々の実践を体験しながら、その体験からの気づきから学びを深め　理論と実践がつながるようにしていきます。 3. 見学：環境教育施設（ビジターセンター） 4. 発表：研修最終日	・研修実施場所は都市部ではないので、買い物等は最寄のスーパーが車で３０分の立地です。 ・宿舎は、キープ協会宿舎または個室寮を利用予定。 ・一部日程につき、部屋の移動を伴います場合があります。
66	横浜	個別短期	－	新規	S9	教育	共感理解教育と日本文化活動	Education Through Empathic Understanding and Japanese Cultural Activities	3	下	12/4	2/16	公益財団法人　世界こども財団	Public Interest Incorporated Foundation for Global Children	http://www.fgc.or.jp/	石井 洋祐	ISHI Yousuke (Mr.)	y.ishii@seisa.ed.jp	教育および青少年育成に携わる方、または勉強している方	左記条件の通り	1年	不問	N3以上	不問	研修員が、共感理解教育の理論、及びものごとを論理的に構築し、実験や観察に基づいて実証していく力を習得する。	①共感理解教育の基礎理論、教育課程及び指導技術の習得。 ②教育実習と教職実践演習を通じて共感理解教育技術の習得。 ③共感理解教育研修を参考にして自国文化の発展に応用可能なアイデア・企画力及び技術の習得。 ④研修員が帰国後の具体的な活動計画の立案・作成する技術の習得。 ⑤日本文化活動を通じた日系人としてのアイデンティの向上	1. 講義および実習： 関東圏の星槎グループの各教育施設および事業所において実施。 学校での授業参加を通じての教育実習的要素と、学びを深めるための講義、およびグループの多様な事業の体験的要素をバランスよく組み合わせる。星槎グループが長年掲げてきた、お互いを認め合い、学びを深めていく「共感理解教育」をキーワードに、各校舎の特色ある教育プログラムを知るとともに、参加し、実践していく。 【研修実施を予定しているグループ校舎、事業部】 ・星槎国際高等学校　（広域通信制高校，日本全国に展開） ・星槎高等学校（全日制，生徒の個性に合わせた指導が特色） ・青葉台幼稚園（幼児教育） ・世界こども財団（国際支援、国際交流、災害支援を実施） ・阿闍梨マジックウエイブ（全国で唯一の学校が運営するコミュニティラジオ） 2. 日本文化体験 ① 星槎グループの各校舎が取り組んでいる特色ある日本文化体験プログラムで学ぶ。 （例）和太鼓、習字、農業体験、日本の唱歌、伝統的スポーツ ② 別途、神奈川県内を中心に歴史的名所を訪れ、また、体験プログラムを通して日本文化を学ぶ。 （例）地引網、みかん狩り、小田原城、横浜中華街、横浜外国人墓地資料館、鎌倉歴史散策など 3. 研修員のルーツを学ぶプログラム 全国に展開する星槎グループのネットワークを生かし、応募者のバックグラウンドに応じてルーツを知る研修を計画する。 （例）沖縄にルーツを持つ研修員に対し、星槎国際高等学校沖縄学習センターと連携して現地訪問、学校での実習、沖縄の歴史や首里城の再建プロジェクト等について学ぶ。 4. 成果発表 JICAにおける成果発表を行うほか、星槎グループの各実習先において、自ら企画した授業を実施することを目標とする（時期や回数は諸調に応じて調整するが、少なくとも後半に訪問する学校においては実施する）。星槎グループとしても研修生の活動をFMラジオやニュースレター、またwebなど、グループの持つ各種媒体で発信していく。	
67	横浜	個別短期	－	継続	S10	教育	情報通信技術（ICT）を活用した授業を展開する教員の育成	Training of Teachers by using Information and Communication Technology	3	上	上半期いずれかで相談	約3か月	学校法人　国際学園	Kokusai Gakuen Education Institute	https://www.seisa.a.jp/	江川　陽	Mr.EGAWA	a.egawa@seisa.ed.jp	継承日本語教育実践教師、日系人学校教諭または大学教員・研究員が望ましいが、これから教員を目指す者も可とする。	左記のとおり	不問	不問	N3以上	不問	研修員がICT教育についての知識と実践力を習得し、当該国の教育現場に還元できるよう講義及び実習で研修する。ICT教育のメリットを最大限いかしつつ、デメリットとして想定される日本語を「書く力」低下しないよう、研修中に記載する日誌については手書きを予定している。	1. 日本のICT教育の全般を理解し、自国の勤務先での教育現場で応用できる技術の習得。 2. 日本のICTの実践現場を体験することにより自国の実践活動での教育手法の習得。 3. 自国でのICT教育の在り方を比較検討する技術の習得。	1．講　　義：①日本の中学校・高等学校の学習指導要領についての理解 ②星槎中学校及び星槎高等学校の生徒の特性についての理解 ③個別の指導計画（Individualized Education Program(IEP)）に関する研修 ④情報セキュリティについての研修 2．授　業　準　備：指導教諭と授業で使用する教材・教具の作成及び準備 3．実　　習：学校施設での授業見学、実習、現職教員からの実習指導 4．見　　学：本法人内の学校施設、特にすでにICTを積極的に活用している星槎名古屋中学校も見学する 5．演　　習：クラス単位での実習と個別指導の実践をする 6．発　　表：最終段階では、教育実習同様に研究授業を行う	・応募締切は5月来日コースの締切日です。 ①宿泊先はJICA横浜の宿泊施設、または、近隣のホテルを利用 ②研修効果の持続性を高めるため、帰国研修員への技術フォローアップはオンラインを活用して行う。時差があるが、日本と現地日本人学校との授業交流も行いたい。 ③研修員の資格によって、研修内容・実習先の変更もあり得る。 ④新型コロナウイルス感染症が収束していない場合は、期間を短くしてオンラインで講習を行う余地はあります。

2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
68	横浜	個別短期	－	継続	S11	教育	特別支援教育	Special Needs Education	3	下	下半期いずれかで相談	約3か月	学校法人　国際学園	Kokusai Gakuen Education Institute	https://www.seisa.a.jp/	太田 啓孝	OHTA Yoshitaka (Mr.)	y-ohta@seisa.ac.jp	継承日本語教育実践教師、日系人学校教諭、大学教員・研究員、または、現在、特別支援教育に携わる者	左記のとおり	2年	不問	N3以上	不問	研修員が特別支援教育についての知識と実践力を習得し、当該国の教育現場に還元できるよう講義及び実習で研修する。	1.日本の特別支援教育の全般を理解し、自国の勤務先での教育現場で応用できる技術の習得。 2.日本の特別支援教育の実践現場を体験することにより自国の実践活動での教育手法の習得。 3.自国での特別支援教育の在り方を比較検討する技能の習得。	1. 講　　義： ①日本の特別支援教育の概要 ②関連科目 ③特別支援教育の指導法 ④個別の指導計画（Individualized Education Program(IEP)）に関する研修 2. 実　　習：学校施設での授業見学、実習、現職教員からの実習指導 3. 見　　学：本法人内の学校施設、関連機関の教育施設も見学 4. 演　　習：クラス単位での実習と個別指導の実践をする 5. 発　　表：最終段階では、教育実習同様に研究授業を行う	・応募締切は10月末日コースの締切日です。 ①宿舎先は、JICA横浜の宿泊施設または近隣のホテルを利用する。 ②研修効果の継続性を高めるため、帰国研修員への技術フォローアップは本学の通信教育制度を利用して実施する。 ③研修員の資格によって、実習先を中学校にするか高等学校にするか決定する。 ④新型コロナウイルス感染症が収束していない場合は、期間を短くしてオンラインで講習を行う余地はあります。
69	横浜	個別短期		継続	S12	教育	日系社会の幼児教育	Early Childhood Education of the Japanese descendants community	3	下	下半期いずれかで相談	約3か月	学校法人　国際学園	Kokusai Gakuen Education Institute	https://www.seisa.a.jp/	太田 啓孝	OHTA Yoshitaka (Mr.)	y-ohta@seisa.ac.jp	継承日本語教育実践教師または日系幼稚園教諭	不問	2年	不問	N3以上	不問	研修員が、幼児教育の理論、及びものごとを論理的に構築し、実験や観察に基づいて実証していく力を習得する。	①日本の幼児教育の基礎理論、教育課程及び指導技術の習得。 ②教育実習と教職実践演習を通じて幼児教育専門技術の習得。 ③日本の幼児教育を参考にし、自国での指導に応用可能なアイデア・企画力及び技術の習得。 ④研修員が帰国後の具体的な活動計画の立案・作成する技術の習得。	1. 講　義：幼児教育系科目 2. 実　習：音楽実技、体育実技、美術実技、レクリエーション実技等 3. 演　習：横浜市青葉区幼稚園（幼保連携型認定こども園）にて教育実習 4. 見　学：社会福祉法人「星槎」が運営する保育園見学 5. 学会・セミナー：計画中 6. 発　表：学内、研修最終日	・応募締切は10月末日コースの締切日です。 ①宿泊先はJICA横浜の宿泊施設、または、近隣のホテルを利用 ②研修効果の持続性を高めるため、帰国研修員への技術フォローアップは本学の通信教育制度を　利用して実施する。 ③研修員の資格によって、研修内容・実習先の変更もあり得る。 ④新型コロナウイルス感染症が収束していない場合は、期間を短くしてオンラインで講習を行う余地はあります。
70	横浜	個別短期	－	継続	S13	保健医療	日系医学	Nikkei Medical Doctor	4	下	下半期いずれかで相談	3か月以内	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	大学等研修受入機関の内諾を得ていること	大学医学部卒業	1年	不問	原則、日本語で実施	研修実施場所において英語での研修が可能であり、 かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談	研修員が、医学における各専門分野の最先端技術に関する知識及び技術を習得する。	1. 研修員に、各専門分野における最先端医療の知識が向上される。 2. 研修員に、各種医療機器の操作技術が習得される。 3. 研修員に、各専門分野における診断技術が習得される。 4. 研修員に、各専門分野における手術技法が習得される。 5. 研修員に、術後ケアに関する知識及び技術が習得される。 6. 研修員が、研究ネットワークを構築する。	研修は担当医師の指導によるOJTにより実務研修を中心に実施される。ただし、原則、臨床修練制度を活用しない範囲とする。 1. 臨床例による座学 2. OJTによる診断実習 3. 医療機器の操作技術 4. 手術見学 5. 現地の臨床例の研究・評価 6. 学会参加・発表	・応募締切は10月末日コースの締切日です。 ・本コースに応募されるまでに、応募者ご自身で希望の大学等研修受入機関にコンタクトを取り、内諾を得るようにお願いします。
71	横浜	個別短期	－	継続	S14	保健医療	日系歯学	Nikkei Dentist	4	下	下半期いずれかで相談	3か月以内	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	大学等研修受入機関の内諾を得ていること	大学歯学	1年	不問	原則、日本語で実施	研修実施場所において英語での研修が可能であり、 かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談	研修員が、歯学における各専門分野の最先端技術に関する知識及び技術を習得する。	1. 研修員に、各専門分野における最先端医療の知識が向上される。 2. 研修員に、各種医療機器の操作技術が習得される。 3. 研修員に、各専門分野における診断技術が習得される。 4. 研修員に、各専門分野における手術技法が習得される。 5. 研修員に、各専門分野における術後ケアに関する知識及び技術が習得される。 6. 研修員が、研究ネットワークを構築する。	1. 各専門分野における最先端医療の知識向上 2. 各種医療器具の操作技術 3. 診断技術 4. 手術技法 5. 術後ケア 6. 研究ネットワーク構築	応募締切は10月末日コースの締切日です。 ・本コースに応募されるまでに、応募者ご自身で希望の大学等研修受入機関にコンタクトを取り、内諾を得るようにお願いします。
72	横浜	個別短期	－	継続	S15	保健医療	日系保健福祉	Nikkei Social welfare and Public Health	4	下	下半期いずれかで相談	3か月以内	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	大学等研修受入機関の内諾を得ていること	医療福祉分野の専門教育を受けている者またはそれに準ずる能力を有する者	1年	不問	原則、日本語で実施	研修実施場所において英語での研修が可能であり、 かつ英語での研修の実施を希望する場合は応相談	研修員が、保健福祉における各専門分野の最先端技術に関する知識及び技術を習得する。	1. 研修員に、各専門分野における最先端医療福祉の知識が向上される。 2. 研修員に、各種医療器具等の操作技術が習得される。 3. 研修員に、各専門分野における診断技術が習得される。 4. 研修員に、各専門分野における指導技術が習得される。 5. 研修員が、研究ネットワークを構築する。	1. 各専門分野における最先端医療福祉の知識向上 2. 各種医療器具等の操作技術 3. 診断技術 4. 指導技術 5. マネージメント 6. 研究ネットワーク構築	・応募締切は10月末日コースの締切日です。 ・本コースに応募されるまでに、応募者ご自身で希望の大学等研修受入機関にコンタクトを取り、内諾を得るようにお願いします。
73	横浜	個別短期	－	継続	S16	民間セクター	日系団体若手リーダー育成	Training for young leaders in Nikkei organization	4	下	10/2	11/4	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	http://www.jadesas.or.jp/	水上 貴雄	MIZUKAMI Takao(Mr.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系団体活動や運営に積極的に参加している者もしくは参加する意思を有する者	日系団体活動や運営に積極的に参加している者もしくは参加する意思を有する者（備考欄も参照）	不問	資格要件を満たす方	不問	不問	研修員が、持続可能な団体運営の方法に関する知識を習得し、ソーシャルビジネスの手法を用いた日系団体による地域活性化のための新規事業計画を作成する	1.研修員に、非営利団体の継続的運営管理方法が習得される。 2.研修員に、様々な非営利事業（教育、文化、福祉等）に関する企画実施方法が習得される。 3.研修員に、中小企業の海外進出に関する知識が習得される。 4.研修員に、課題解決手法が習得され、日系団体及び地域活性化のための活動案を作成する。	【講義】持続可能な団体運営に関する基礎知識、ソーシャルビジネス手法、企業の海外ビジネスへのアプローチ手法、DXによる社会課題解決、SDGsと社会貢献など 【演習】日本文化体験、ファシリテーション手法、広報活動手法（ファンドレイジング）など 【視察】文化・教育・まちづくり系NPOや企業、移住関連施設など	帰国1年後を目途に、1年間の日系団体における活動状況について、JICAドミニカ共和国事務所に報告していただきます。
74	横浜	個別短期	－	継続	S17	保健医療	高齢化対策・生活習慣病予防	Measures to counter effects of low birthrate and aging population	3	上	上半期いずれかで相談	8/9	順天堂大学　医学部講習管理生学講座	Department of Public Health, Juntendo University School of Medicine	http://www.juntendo.ac.jp/med/labo/kosyu_eisei.html	湯浅　資之	YUASA Motoyuki(Mr)	moyuasa@juntendo.ac.jp	保健医療福祉分野に関心のある研究者、実務家や、行政関係者	不問	２～３年程度の社会人経験がある方が望ましい	不問	研修は日本語・英語で対応可、最低限の日常会話程度がある方が望ましい	研修は日本語・英語で対応可、最低限の日常会話程度がある方が望ましい スペイン語・ポルトガル語フレンドリーなスタッフ	高齢化対策・生活習慣病予防に関する公衆衛生学的課題の科学的な把握方法を学び、社会的ニーズに基づく適切な対策が立案できるようになる。	①日本やアジア地域各国の高齢化対策の現状と課題を把握する ②基礎的疫学・統計手法（データの集め方、研究デザインの立案、基本統計量、差の検定、分散分析、多重線形回帰分析、マルチレベル分析、共分散構造分析SEM、など） ③公衆衛生学に基づく政策手法（PRECEDE-PROCEEDモデル、ヘルスプロモーション、ハイリスク・アプローチ、ポピュレーション・アプローチなど）	1. 講義；①基礎統計の解説、②医学部公衆衛生講義の聴講（日本語能力上可能なら） 2. 実習；①大学院レベルのゼミ、②抄読会、③月例勉強会への参加 3. 演習；①実地調査への参加、②データ入力、③データ解析(SPSS, SAS, Stata) 4. 視察；大学病院、東京都杉並区、静岡県伊豆の国市、長野県佐久など保健医療福祉施設 5. 発表；学内研究発表会、学会での発表（予定）	・応募締切は5月末日コースの締切日です。
75	横浜	個別短期	－	新規	S18	その他	日本伝統文化継承 和太鼓・伝統芸能を通じた教育活動	Sharing and Passing On Traditional Japanese Culture Educating Through Traditional Performing Arts and Japanese Drums	3	下	11/6	12/17	特定非営利活動法人 打鼓音	Non profit organization Dako-on	https://www.dako-n.jp/	渡邊 晃伸	WATANABE Akinobu(Mr.)	dakoon0610@gmail.com	運動制限がない人	不問	運動制限がない人和太鼓経験一年以上（鉦太鼓・お囃子・創作和太鼓）（教員免許の資格はなくても可）日系団体で文化活動に関わりのある方であれば、なお望ましい。	不問	N3以上	不問	研修員が伝統芸能の継承についての知識と実践力を習得し、国際交流の観点から当該国の教育現場や 地域社会に還元できるよう講義及び実習で研修する。	① 和太鼓演奏技術 指導方法 ② 篠笛演奏技術 指導方法 ③ 伝統芸能（獅子舞）についての知識や経験値 ④ 和太鼓演奏技術の習得 ⑤ 和太鼓指導法の習得	1.講　　義： ①日本の伝統文化　和太鼓の効用 ②起原・所作を学ぶ ③和太鼓教育指導法 ④和太鼓における保育園交流 ⑤和太鼓基礎講座（全5回） ⑥篠笛基礎講座（全3回） ⑦篠笛演目講座（全5回） ⑧和太鼓演目講座（全　回） ⑨和太鼓の製造を学ぶ 2. 実　　習： 練習施設にて実習 和太鼓の皮を張る。（和太鼓業者へ訪問・体験） 太鼓を作る。 バチを作る。 和太鼓の締め方・音の調律を学ぶ 長胴太鼓の演奏方法　締太鼓の演奏方法　大太鼓の演奏方法　桶胴太鼓の演奏方法 鳴り物（チャッパ）演奏方法 和太鼓実習基礎　和太鼓実習演目　和太鼓実習応用演目 和太鼓演奏（地域・保育園・コンサート） 保育園・幼稚園交流実習 小学校・中学校和太鼓部・高等学校和太鼓部との交流 地域社会との連携実習　地域の太鼓教室での交流 3. 見　　学：保育園交流　演奏参加　太鼓教室　和太鼓製造見学 4. 演　　習：地域演奏に参加　和太鼓演奏演習　獅子舞講座 5. 発　　表：コンサート出演　発表会出演　和太鼓指導発表会	①宿舎先は、JICA横浜の宿泊施設または近隣のホテルを利用する。
76	関西	個別短期	－	継続	S19	自然環境保全	環境教育リーダー養成研修（都市型環境教育）	Training for Environmental Education Leaders (Especially in Urban Areas)	3	下	1/9	2月	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会	Kyoto Environmental Activities Association	http://www.miyako-eco.jp	松本万里子	MATSUMOTO Mariko(Ms.)	htsumoto@miyako-eco.	必要資格：環境教育に携わっている、または携わる意思があること。 経験年数：特に定めない（教育分野に携わった経験があることが望ましい） 日本語能力：日本語能力試験N3程度（同等レベル、会話力を重視する） ＊本研修は、実習・OJTが中心となり、子どもから大人までの一般来館者等との日本語でのコミュニケーションが必要なため、相応のコミュニケーション力が必要になる。	必要資格：環境教育に携わっている、または携わる意思があること。 経験年数：特に定めない（教育分野に携わった経験があることが望ましい） 日本語能力：日本語能力試験N3程度（同等レベル、会話力を重視する） ＊本研修は、実習・OJTが中心となり、子どもから大人までの一般来館者等との日本語でのコミュニケーションが必要なため、相応のコミュニケーション力が必要になる。	大卒（相当）	特に定めない	不問	日本語能力試験N3程度	通訳配置可能性無 教材：日本語or英語	研修員が、現地日系社会に応用可能な、一般市民を中心とした社会の環境意識を高めることを目指した環境教育を実践するための知識及び技術を習得することと、現地日系社会の様々な人的・社会的資源を活用しながら、市民や他の組織・団体と協働で行う環境教育推進の視点を得ること。	①環境教育実践の基本的な知識（歴史や手法、考え方等）が理解される。 ②環境教育実践のための知識と技術が習得される。 ③多様な人的・社会的資源を活かし、市民社会における環境教育を推進する視点を得る。 ④上記3項を基に、研修員が自国で応用・活用できる知識と技術が整理される。	1. 講義　環境教育の歴史・考え方、体験学習法、環境教育における市民参画、ワークショップの理論と技法、プログラムデザイン／企画／評価 2. 実習・OJT　京エコロジーセンターの来館者への環境教育プログラムの実施や展示解説（インタープリテーション）の実施（来館者対応あり） 子どもから大人を対象とした環境教育プログラムの企画・実施・評価 地域コミュニティ等での市民参画による環境保全活動・環境教育コーディネート 3. 見学　他の環境教育施設または環境NGO等の環境教育の取り組み、市民参画で環境教育を推進している取り組みや仕組みについて視察する 4. 演習　当該地域の抱える環境問題及び環境教育の課題を分析したよで、様々なリソース（人的資源、社会的資源）を巻き込み環境教育を推進していくためのアクションプラン作成する 5. 発表　「4. 演習」で作成したアクションプランについて発表をする。それに対し関係者・学識者よりフィードバックを受けたプラン改善	
77	関西	個別短期	－	継続	S20	保健医療	鍼灸学	Acupuncture and Moxibustion	2	下	10/2	12/23	関西医療大学	Kansai University of Health Sciences	http://kansai.ac.jp/	野口英哉	NOGUCHI Hideya(Mr.)	noguchi@kansai.ac.jp	・医療系（鍼灸を含む）の資格を有していることが望ましい。 ・鍼灸学をすでにある程度習得していることが望ましい。	医療系の大学を卒業していることが望ましい。	不問	不問	日本語の高い理解力が必要（ある程度の日常会話が可能）	通訳配置可能性無 教材：日本語	鍼灸学についての基本的な知識・技術の再確認を行った後、日本で行われている鍼灸の様々な知識及び技術、更には最新の知識・技術の習得を通じて、鍼灸学に係わる考え方、学ぶ力を身につける。さらに、帰国してからも中南米社会で研修成果を社会に還元する。	鍼灸学全般に係わる基礎的な知識を確立することができる。また、日本で行われている伝統的な鍼灸治療についての知識と技術の概要を理解できる。 鍼灸治療の実地見学などの機会を通じ、高度な知識の習得や鍼灸臨床の技術力の向上を図ることができ、帰国後は自国での治療に活用することが可能となる。	関西医療大学付属鍼灸治療所において、伝統的鍼灸治療法、現代医学的鍼灸治療法、トリガーポイント療法、その他、皮内鍼法、経路テスト、特殊鍼法（耳鍼、頭皮鍼、髪際鍼）などを専任教員の指導下で学習する。（但し、患者さんへの治療は行なわない実習である）	提案団体へのお問合せは、件名を（JICA研修員問い合わせ）として、noguchi@kansai.ac.jp（野口英哉）へメールで送付してください。（できるだけ日本語でお願いします。）
78	中国	個別短期	－	継続	S21	民間セクター	日系アイデンティティの涵養を通じた日系団体の活性化	Revitalization of Japanese Heritage Group through Cultivating Japanese (Nikkei) Identity	3	下	1/9	1/25	島根県	Shimane Prefectural Government	http://www.pref.shimane.lg.jp/	藤原　絢美	FUJIWARA Ayami(Ms.)	bunka-kokusai@pref.shimane.lg.jp	・日系団体の青年部等に所属している者、または今後所属する意思がある者で、当該団体からの推薦を得られること（島根県にルーツが有る者が望ましい） ・今後3年以上、推薦を得た日系団体において積極的に活動する意欲を有すること		大卒（相当）	不問	21-39（2022年4月1日時点）	－	自身のルーツとなる日系アイデンティティが強化され、自国の日系団体の中核的存在として同団体の活動を活発化させるための企画・実践力を身につける。	1.自身のルーツとなる土地への理解を深め、日系アイデンティティが強化される。2.日系団体等の活性化のための活動に関する機会を通じ、高度な知識の習得や鍼灸臨床の技術力の向上を図ることができ、帰国後は自国での治療に活用することが可能となる。3.研修を通して交流を深めた日本人との新たな日系ネットワークを構築する。	1.講義、実習（伝統芸能・文化の視察等、地域・団体の活性化等に関する講義、地元青年等との意見交換、交流等） 2.所属する日系団体の活性化のための活動計画の作成、3.関係者への研修結果の報告。	
79	中国	個別短期	－	継続	S22	社会保障	理学療法による機能回復訓練	Rehabilitation training with physical therapy	1	下	10/2	11/18	公益財団法人ひろしま国際センター	Hiroshima International Center	http://hiroshima-ic.or.jp/	迫本　啓吾	SAKOMOTO Keigo(Mr.)	hicc12@hiroshima-ic.or.jp	理学療法士の資格・経験のある者（自国での資格で可）。	大卒（相当）	不問	21-50	N2以上	－	障害者などに対して、身体機能の改善や日常生活活動能力の向上などを目的としたリハビリ訓練の手法を習得する。	理学療法の様々なアプローチからのリハビリ訓練に関する手法。	障害者（主に成人）を対象とした理学療法による機能回復訓練の現場での実習を通じて、訓練の流れやシステム、検査別アプローチについて学ぶ。	
80	中国	個別短期	－	継続	S23	農業開発/農村開発	観光果樹園経営及び果樹栽培技術研修	Management of Tourist Fruit Farm and Cultivation Technique of Fruits (Short Term)	1	上	5/8	7/15	公益財団法人ひろしま国際センター	Hiroshima International Center	http://hiroshima-ic.or.jp/	迫本　啓吾	SAKOMOTO Keigo(Mr.)	hicc12@hiroshima-ic.or.jp	日本語で研修受講が可能な語学力を有していること。	大卒（相当）	不問	21-50	N3以上（日常会話程度以上）	－	1.果樹園経営に関する知識を習得する、2.加工技術と商品化、マーケティングのノウハウを習得する、3.観光果樹園の経営手法を習得する。	1.果樹栽培管理技術の向上、2.加工品の商品化、販売ルートの開拓、観光農園経営の成功。	平田観光農園の業務に従事し、実習を積み重ねて技術を体得する（最も重要な開花期の受粉技術を習得する）。	
81	中国	個別短期	－	継続	S24	その他	伝統文化（神楽）の継承による日系社会の活性化	Vitalization of Japanese-Descended Communities through the Development of Successors to Japanese Culture (Kagura)	4	下	1/9	3/3	公益財団法人ひろしま国際センター	Hiroshima International Center	http://hiroshima-ic.or.jp/	迫本　啓吾	SAKOMOTO Keigo(Mr.)	hicc12@hiroshima-ic.or.jp	神楽等の伝統芸能活動経験1年以上。	大卒（相当）	1	21-50	N3以上（日常会話程度以上）	－	演舞や道具類などの神楽技術の個別指導、効率的な神楽イベントの企画管理運営技術、さらには後継者を指導・育成する技術を習得する。また、現地での神楽イベントを通じ、日系社会全体の連携と共同意識を高め、日系社会を支えていく担い手としての意識向上を目標とする。	1.広島神楽（新舞）の演舞の技術の習得、2.口上（セリフ）、音曲（笛、太鼓、鉦）の技術の習得、3.大道具、小道具の作成・使用・修理技術の習得、4.神楽イベントの企画・管理・運営技術の習得。	1.神楽の基礎、歴史、技法についての講義・見学、2.広島神楽（新舞）の実技指導、3.神楽公演や関連イベントの開催補助実習（管理運営ノウハウの習得）。	

2022年度日系社会研修員受入事業　JICA審査通過　提案案件一覧　詳細内容

	所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	受入人数上限	上下	来日日	終了日	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年令	日本語能力	英語他言語	①目標	②成果	③計画（内容）	備考
82	四国	個別短期	－	新規	S25	自然環境保全	寒冷条件下での自然環境保全を目指したバイオ複合材料の調査研究	Research and edification on bio-composite materials in cold weather aiming the conservation of natural environment	2	下	下半期来日指定日で相談可	1/30	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/	長谷崎　和洋	HASEZAKI Kazuhiro (Mr)	ozaki@tokushima-u.ac	理系大学在学中または卒業	左記資格の通り	不問	不問	ポルトガル語で会話できる教員が在籍しているため、ポルトガル語を話せる場合は日本語能力不問 スペイン語を話せる場合は、日本語能力試験N4以上（ただし、研修期間中の徳島大学が開催する日本語教室を必ず受講すること）。	国際的なレベルの研究を行うため、理系の英語論文読解および執筆能力、研究者とのコミュニケーション英語会話能力は必須。（理系大学卒業者であれば、英語能力は有していると想定）	全世界で自然環境保全を目指したバイオ複合材料が必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得る。 さらに、徳島大学での先進技術を知ることで、日系社会の発展と移住先国の国造りに貢献できる新しい取り組みを検討する。	1. 石油由来のプラスチックごみの環境に及ぼす影響について理解すること 2. 石油由来のプラスチックに代わるバイオ材料についての知識を得ること 3. 最新のバイオ材料の研究動向を知ること 5. 自然環境保全を目指したバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること	1. 調査：教員から個別のレクチャー、研究室の日本人学生との学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出ならび解決策の一つであるバイオ材料の現状分析調査を行う。徳島大学で取り組んでいる持続可能な開発目標（SDGｓ）関連研究やニオブ元素利用研究等の先進技術開発設備も見学する。最新の研究動向を情報収集し、大学院進学が可能となるように研究指導を行う。 2. 試験計画策定：問題点を解決するためのバイオ複合材料の試作について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。 3. 試作試験：バイオ複合材料の試作を行う。 4. 分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。 6. 解析・まとめ：分析結果から目的としたバイオ複合材料の試作の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。	応募締切は10月来日コースの締切日
83	四国	個別短期	－	新規	S26	自然環境保全	高温多湿環境下での自然環境保全を目指したバイオ複合材料の調査研究	Research and edification on bio-composite materials under high-temperature and humidity aiming the conservation of natural environment	2	上	上半期来日指定日で相談可	9/17	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/	長谷崎　和洋	HASEZAKI Kazuhiro (Mr)	ozaki@tokushima-u.ac	理系大学在学中または卒業	不問	不問	ポルトガル語で会話できる教員が在籍しているため、ポルトガル語を話せる場合は日本語能力不問（ただし、研修期間中の徳島大学が開催する日本語教室を必ず受講すること）。 スペイン語を話せる場合は、日本語能力試験N5以上（ただし、研修期間中の徳島大学が開催する日本語教室を必ず受講すること）。	国際的なレベルの研究を行うため、理系の英語論文読解および執筆能力、研究者とのコミュニケーション英語会話能力は必須。（理系大学卒業者であれば、英語能力は有していると想定）	全世界で自然環境保全を目指したバイオ複合材料が必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得る。 さらに、徳島大学での先進技術を知ることで、日系社会の発展と移住先国の国造りに貢献できる新しい取り組みを検討する。	1. 石油由来のプラスチックごみの環境に及ぼす影響について理解すること 2. 石油由来のプラスチックに代わるバイオ材料についての知識を得ること 3. 最新のバイオ材料の研究動向を知ること 6. 自然環境保全を目指したバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること	1. 調査：教員から個別のレクチャー、研究室の日本人学生との学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出ならび解決策の一つであるバイオ材料の現状分析調査を行う。徳島大学で取り組んでいる持続可能な開発目標（SDGｓ）関連研究やニオブ元素利用研究等の先進技術開発設備も見学するとともに、最新の研究動向を情報収集し、大学院進学が可能となるように研究指導を行う。 2. 試験計画策定：問題点を解決するためのバイオ複合材料の試作について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。 3. 試作試験：バイオ複合材料の試作を行う。 4. 分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。 7. 解析・まとめ：分析結果から目的としたバイオ複合材料の試作の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。	応募締切は５月来日コースの締切日
84	四国	個別短期	－	継続	S27	社会保障	地域包括ケアシステムと在宅医療	Community-based integrated care systems and home health care	2	下	11/6	12/2	医療法人ゆうの森	Medical Corporation "Yuu no Mori"	http://www.tampopo-clinic.com/	木原　信吾	KIHARA Shingo (Mr)	hara@tampopo-clinic.c	日系社会で医療・保健・福祉分野に従事する者	不問	不問	不問	日常会話以上が望ましい	－	患者中心の視点で「生活の中の医療」「病気ではなく人を診る」をめざけ、患者のニーズに応じた医療システム、在宅患者やご家族がご自宅で過ごすために必要な知識、技術、支援方法を習得する。加えて、地域で最期まで暮らし続けることを支える様々な仕組みやシステムについても施設やサービスの見学あるいは実体験を通して学ぶ。併せて在宅医療を通じて、最期まで安心して暮らし続けることの出来る地域創生法を実例から理解する。	1.　日本の高齢者福祉制度の全体像が理解される。 2.　日本の在宅医療の技術・知識が習得される。 3.　前2項を元に、自国で応用可能な介護技術・知識を整理する。 4.　高齢者施設の運営、管理について理解する。 5.　高齢者用住宅の利便性について理解する。 6.　高齢者に残されている力を使うケアについて理解し、応用できることを計画する。 7.　住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるための包括的な地域医療（訪問医療・看護・リハビリ・介護等の包括的な展開）を理解する。 8.　へき地の診療所の取組みや地域との関わり方を理解する。 9.　帰国後の具体的な活動計画を作成する。	【内容】 1. 講義　1)　高齢社会を支える在宅医療 2)　高齢者ケア 3)　在宅緩和ケア 4)　地域包括ケアシステム 2. 実習　訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、鍼灸マッサージ、訪問介護などへの同行 3. 見学　1)　在宅療養支援病床＆ホスピス・緩和ケア病床 2)　高齢者施設、高齢者賃貸住宅 3)　訪問看護・介護ステーション 4)　へき地の診療所の取組みと地域医療（徳津診療所） 4. 演習　直面している問題を分析、日本の手法の適応を検討、帰国後の活動計画の作成 5. 発表　成果報告会 【カリキュラム】 以下のカリキュラムにおいて、研修内容の充分な理解と習得が行われることを目指します。 1.　在宅医療全般についての講義と在宅での臨床研修 2.　在宅ターミナルケアについての講義と当該患者様宅での臨床研修 3.　在宅での看護、リハビリ、介護、鍼灸マッサージ等の臨床研修 4.　地域医療とフィールドワーク（徳津診療所） 5.　医療連携、介護連携による地域包括ケアの講義と見学研修 6.　高齢者施設の見学研修	
85	四国	個別短期	－	継続	S28	地域開発	よさこい踊り子チームのマネジメントを通じた日系社会の活性化	Japanese Community Revitalization through the Management of Yosakoi Dancers team	1	下	1/9	2/3	高知希望工程基金会	Kochi hope plans foundation	N/A	山中　茂	YAMANAKA Shigeru (Mr)	chinatu6732@bb.ne.jp	日系社会でのよさこい鳴子踊り子チームマネジメントを期待できる人材	不問	不問	不問	研修可能な日本語力を有する者	－	❶現在所属するよさこい鳴子踊りチームの総合的なマネジメントのレベルアップを図る ❷研修成果物であるよさこい鳴子踊りの衣装、音楽、鳴子、振付を活用したアクションプランを創造する ❸日本のよさこい祭り関係者との連携を通じて、現地チームの持続可能な運営サポート体制を構築する	❶持続可能なよさこい鳴子踊り子チーム運営に必要な総合マネジメントカが向上する ❷海外のよさこい鳴子踊り子チームの持続的な発展に不可欠な本場のよさこいアイテム（衣装、音楽、鳴子、振付）の継続的な取得方法を知ることができる ❸よさこい鳴子踊りのステイクホルダーとの交流を通じて、新たなよさこいネットワークが構築される ❹日本のよさこい祭り関係者との連携を通じて、現地チームの持続可能な運営サポート体制が構築される	1. 講義：「ボランティアグループのマネジメント」、「高知県の海外よさこいチームへの支援政策」、「よさこい踊り子チームの衣装・音楽・振付マネジメント」。 2. 視察：鳴子制作現場、よさこい衣装制作現場、よさこい音楽セレクト現場、よさこい振付セレクト現場、高知よさこい情報交流館、高知城、高知城歴史博物館、龍馬の生まれた町記念館 3. 発表：日系社会の現状（カントリーレポート）、アクションプラン（研修成果報告） 4. その他：高知県表敬、高知県議会表敬、ホームビジット	
86	四国	個別短期	－	継続	S29	教育	言語と文化の継承と教育技術向上実践	A Skill-Building Program for the Inheritance of and Education on Indigenous Languages and Cultures	2	上	5/8	6/9	高知県立大学	University of Kochi	https://www.u-kochi.ac.jp/	向井　真樹子	MUKAI Makiko (Ms)	ukai@cc.u-kochi.ac.j	資格：日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師	不問	1～3年(授業時間300時間以下)	不問	N3程度(全授業日本語のため)	－	地域の歴史、文化、慣習、言語(方言)の継承とその教育方法の技能習得及びに日本の国語科指導教育に関する知識の習得と教育実践力の向上	1. 文化の継承を担う教師としての実践技術 2. 言語の継承を担う教師としての実践技術 3. 文化と言語の記録のための理論と技能	1. 日系日本語担当教員としての専門知識の実践力の向上 2. 地域文化の継承について 3. 1日の振り返り、日本人学生・留学生との討論、成果発表、意見交換	
87	九州	個別短期	－	継続	S30	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	3	上	上半期いずれかで相談	研修開始から1か月後	国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/imed/en/index.html	森山　智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr.)	tomohiko.moriyama.1538m.kyushu-u.ac.jp	医師 臨床経験5年以上 内視鏡経験3年以上	医学部	医学部卒業5年以上	55歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習熟できる ・ブタ切除胃を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習：ブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の実習 4. 学会参加：日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表：医学部内で研修内容を発表	・応募締切は5月来日コースの締切日です。
88	九州	個別短期	－	継続	S31	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	3	下	下半期いずれかで相談	研修開始から1か月後	国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/imed/en/index.html	森山　智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr.)	tomohiko.moriyama.1538m.kyushu-u.ac.jp	医師 臨床経験5年以上 内視鏡経験3年以上	医学部	医学部卒業5年以上	55歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習熟できる ・ブタ切除胃を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習：ブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の実習 4. 学会参加：日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表：医学部内で研修内容を発表	・応募締切は10月来日コースの締切日です。個別上半期実施の場合、下半期に実施しない可能性があります。
89	九州	個別短期	－	継続	S32	農業開発・農村開発	グリーンツーリズム	Agri-tourism(Green tourism)	3	下	10/2	11/1	共同事業体鹿児島国際交流促進センター	Kagoshima International Exchange Promotion Agency	http://kapic.jp http://kapic.jp/en/index	渡邊　洋子	WATANABE Yoko (Ms.)	kapic114@po3.synapse.ne.jp	グリーンツーリズム実践を目指していて　且つ、農・林・漁業関連の仕事および旅行業に携わっているか、または日系社会で婦人会などの地域活動をしている	特に指定なし	3年以上	特に指定なし	N3以上	英語の場合、TOEIC 500点以上	研修員がグリーンツーリズムについての知見を習得する	1. グリーンツーリズムの意義について理解する 2. グリーンツーリズムの具体的な事例、経営ノウハウについての知見を得る 3. 日本におけるグリーンツーリズムの事例を参考にして研修員が自国で実施可能なアイデアを得る 4. 研修員が帰国後の具体的な実践計画を作成する	1. 講義：グリーンツーリズムの意義、日本（鹿児島）におけるグリーンツーリズムの現状と課題、農村女性の活用、グリーンツーリズム関連施設におけるクライシスマネジメント、環境保全 2. 実習：グリーンツーリズムの事例（農業体験、農産物加工体験、自然体験、農家民泊） 3. 視察：グリーンツーリズム関連施設、観光施設 4. 意見交換：グリーンツーリズム実践者、関係者との意見交換 5. 発表：研修成果発表	
90	九州	個別短期	－	継続	S33	社会保障	高齢者看護	Geriatric Nursing	3	上	5/8	6/3	聖マリア学院大学	St. Mary's College	http://www.st-mary.ac.jp	秦野　環	HATANO Tamaki (Ms.)	hatano@stmaryacjp.onmicrosoft.com	出身国の看護師免許	看護教育	臨床経験3年以上	特に指定なし	N3レベル	英語での技術研修は、相談可	研修員が自国において、高齢化する日系移民に対し、高齢者の尊厳を守った看護を提供するための高齢者看護の特性を修得する	1.「高齢者総合機能評価(Comprehensive Geriatric Assessment)」を講義、演習を通して学修する 2. 病院において高齢者看護の実際を見学実習を通して学ぶ 3. 認知症高齢者への看護（パーソン・センタードケア）を学ぶ 4. 病院や高齢者施設におけるパーソン・センタードケアの実践方法を見学し、修得する 5. 帰国後、研修員自身が高齢者に対し看護を行う際に、研修をもとに十分な工夫ができるようになる	1. 講義と演習：老年看護論、①高齢者総合機能評価、高齢者のアセスメント、②認知症のある高齢者への施設でのケア、等 2. 実習：総合病院の高齢者が多い病棟と高齢者施設において、高齢者看護の実際を見学を通して学ぶ	
91	沖縄	個別短期	－	継続	S34	都市開発・地域開発	建築設計（意匠・構造及び設備	Architectural Design (Design/Structural and Equipment)	2	上	6/19	7/21	株式会社具志堅建築設計事務所	Gushiken Architectural Engineering Co., Ltd. Ginowan Branch Office	https://gushikena-e.net/	城間　俊	SHIROMA Suguru(Mr.)	u.shiroma@gushikena-	大学の建築学科化都市計画課の卒業生	左記のとおり	大学卒業2カ年以上	不問	日本語ができれば望ましいが、英語能力があれば対応可能	－	建築の設計・施工に関する、建物の機能性、安全性、適正な避難計画、耐震・環境対応策、これらに関する設備計画、また施工監理において基本的技術を習得する。	1. 日本における建築設計の基本的な技術全般を習得する。 2. 環境に対する建築的アプローチを日本のCASBEEや米国のLEEDから学習する。 3. その他研修員の希望する意匠計画、構造計画設備計画の研修を行い、必要な知識を取得する。	建築設計・施工監理に必要な技術を以下の研修内容で習得する。 1. 当社社員による各分野の講座にて、必要な知識を習得する。 2. 当社が抱える工事現場へ出向き、生の日本の工事技術・環境に触れる。 3. 当社が行った実績（施設）の見学、史跡や有名施設の視察を通し、沖縄の環境を土台とした建築の成り立ちを習得する。	
92	沖縄	個別短期	－	継続	S35	農業開発/農村開発	花卉園芸の栽培技術及びフラワーアレンジメント技術研修	Flower gardening cultivation technology and flower arrangement technology training	3	下	10/2	12/23	農業生産法人ANDES farm合同会社	ANDES farm Inc.	なし	伊藤　裕美子	IGEI Yumiko (Ms.)	andesnouen@gmail.com	農業に関心がある者	不問	不問	不問	日常会話で可能な程度	－	研修員が自国での花卉園芸の発展に貢献できる人材となるよう花卉園芸に関する基礎的な栽培技術等を習得し、農業経営の発展に寄与する事を習得する。ピカクシダ等胞子植物の栽培方法を習得する。フラワーアレンジや花束等技術を習得する。	1．植物の育種方法を習得する。 さし木、取り木、株分け、胞子栽培等の技術力を向上する 2．経営管理能力を習得する。 販売方法等を考察する。フラワーアレンジ、生け花等を体験。 3．農業全般を体得し、帰国後、実践的な事業計画を作成する。	1．講義・実習・視察 ・（講義）植物による育苗・育種の違い ・（実習）肥培管理の技術の習得 ・（実習）栽培管理の技術の習得 ・（実習）胞子栽培の技術の習得 ・（実習）フラワーアレンジメント、 生け花の技術習得 ・（視察）農産物の加工施設等の視察 ・（視察）植物園、観光農園等の視察 ・（視察）直売所、道の駅等の視察 ・（その他）農業大学校、先進農家等の 情報交換	
93	沖縄	個別短期	－	新規	S36	環境管理	大気・土壌汚染管理	Management of Air and Soil Pollution	2	下	10/2	11/11	株式会社堀井工業	Lnc.horiikougyo University of the Ryukyus	http://chem.sci.u-ryukyu.ac.jp/?p=7425	堀井　大輔	HORII Daisuke(Mr.)	horiikogyo@yahoo.co	日系社会で大気または土壌汚染事業に携わっている又は携わりたいと考えている方。	不問	実務1年以上また未経験可。短期間での研修のため、基礎知識は習得していて欲しい。	不問	日本語能力試験N3以上。専門用語があるので言い換え表現で理解できる程度の能力が必要。	－	研修員が日本と南米における環境問題について理解する。 研修員が環境調査の方法について理解する。 研修員が環境調査の種類と調査方法について理解し、調査技術を習得する。	土壌汚染調査については、採取機械の仕組みや運転技術を習得する。さらに土壌汚染物質の項目や評価方法などの知識を習得する。 大気汚染については環境大学、理学部、海洋自然科学科、化学系の島田泰徳助教と連携して大気汚染に関する講義および測定技術を習得する。	現場に同行し実際に調査している状況を見学する。現地で採取された試料や作業機械の仕組みなどの説明をする。事務所で採取した試料の保管方法や資料の取りまとめの方法を説明し、調査に関する講義を行う。 1. 講義：日本における土壌汚染の事例 日本における土壌汚染対策の現状と課題 土壌汚染調査の方法 大気汚染に関する講義 2. 実習・OJT：調査機械の説明、土壌採取、 試料整理とリまとめ 3. 見学：土壌汚染調査現場の見学	